

教育課程

(履修要項)

(令和5年度)



SEITOKU

聖徳大学短期大学部
聖徳大学短期大学部専攻科

教育課程（履修要項）（令和5年度） 聖徳大学短期大学部

目次

はじめに

1. 教育課程の使い方	2
2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項	2
3. 授業計画（SYLLABUS シラバス）	4

聖徳大学短期大学部

- 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
- 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
- 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

I. 全学共通科目	14
聖徳教育、教養科目、外国語科目（別表1）	14
健康教育科目（別表2）	15
情報活用科目（別表3）	15
帰国子女科目（別表4）	15
II. 保育科	
第一部 幼稚園教諭・保育士コース（別表5-1、5-2）	20
第二部 幼稚園教諭・保育士コース（別表6-1、6-2）	22
准学校心理士（保育科第一部・第二部）、図書館司書（保育科第一部）（別表7、8）	31
秘書士（保育科第一部）（別表9）	32
III. 総合文化学科	
履修要項（各コース共通）（別表10）	38
フードマネジメントコース（別表11-1、11-2、11-3）	40
図書館司書・ITコース（別表12-1、12-2、12-3）	44
国際観光・ホテルコース（別表13-1、13-2、13-3）	48
ファッション・造形デザインコース（別表14-1、14-2、14-3）	52
総合文化学科 各種資格	
図書館司書（別表15）	69
調理師受験対策講座（別表16）	69
フードスペシャリスト（受験資格）（別表17）	70
情報処理士・観光実務士・ビジネス実務士・秘書士（別表18）	71
IV. 専攻科	
医療保育専攻（別表19）	74
V. 免許・資格取得の課程履修登録（短期大学部）（別表20）	75

はじめに

この教育課程（履修要項）は、令和5年度に入学された学生の皆さんを対象に、履修にあたっての諸注意、履修の方法についての説明が記載されています。本冊子は入学時に配布し、卒業時まで使用しますので、紛失しないように大切に扱ってください。また、必要箇所については熟読し、理解を深めていただき、授業に臨んでください。

1. 教育課程の使い方

所属する学科・コースの履修要項の指示に従い、該当の別表より履修する科目を確認してください。

別表の分類

別表は、次の3つに分類されます。

- (1)全学共通科目（A類）＝聖徳教育科目・教養科目・外国語科目・健康教育科目・情報活用科目（・帰国子女科目）
- (2)専門教育科目（B類）＝各学科・コースに設置された専門教育科目
- (3)教職・資格関係科目＝免許・資格を取得するための科目で、原則として、卒業単位数に含まれない科目（但し、総合文化学科においては、教職・資格関係科目であっても卒業単位数に含まれます）

特に(1)、(2)については必修科目（卒業するために必ず履修しなければならない科目）や選択必修科目（卒業するために、必ずきめられた条件により必要な単位数を修得しなければならない科目）が多数含まれているので履修にあたってはよく確認してください。

2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項

皆さんの年間の学習の流れをここに分かりやすくまとめました。併せて学生便覧の「履修関係の項目」も熟読して学習に取り組んでください。

学期	春 学 期											秋 学 期											
	入学・新学年	⇒	春学期授業開始	⇒	課程登録	⇒	履修登録・確認	履修取消期限	⇒	試験	⇒	成績発表・追再試	⇒	秋学期授業開始	⇒	履修登録・確認	履修取消期限	⇒	試験	⇒	成績発表・追再試	⇒	進級・卒業
時期			4月上旬		春学期		4月下旬	5月10日		7月下旬		8月下旬		9月中旬		10月上旬	11月10日		1月下旬		3月上旬		3月下旬

①学期

1年間の学期は、春学期（4月～9月末）・秋学期（9月末～3月末）の2学期に分かれ、それぞれの学期で授業期間、定期試験期間などが設定されています。本学で設置されている科目は、一部の通年科目を除いて春学期・秋学期の学期毎に開講されています。授業期間や行事等は「学生便覧」の学事日程で確認しておいてください。

②単位制と単位認定について

大学では、単位制が採用されています。単位制とは一定の学習量を単位として表し、所定の期間で量的修得を卒業の判定基準とする方式です。各授業科目の単位修得の認定は、一定時間以上の授業に出席し、かつ、科目担当教員の試験等に合格したものにその単位が与えられます。授業科目の授業方法や修得できる単位数については各自別表で確認してください。

授業科目を履修し、試験を受けると、成績の評価がなされます。成績評価は、100点を満点として60点以上（S・A・B・C評価）の場合には合格として所定の単位が与えられます。

③授業時間について

授業時間は90分を1授業時間として行われます。実験・実習・実技科目等の中には135分で行われるものもあります。

④履修登録

授業科目を履修するためには、各学期開始時に履修登録を行わなければなりません。登録をしなかった科目については、単位の修得は認められません。なお、履修年次配当で自分の学年より上級年次に配当されている科目は履修できません。

また、一度履修登録をした科目を他の科目に変更することは、原則として認められません。履修登録の方法については各学期開始時にお知らせをいたします。

⑤履修取消について

履修取消のみ指定期間内に限り認めます（春学期：5月10日まで 秋学期11月10日まで いかなる理由であっても上記期間を過ぎた取消は認められません）。履修登録に際しては、慎重に履修計画をたてて臨むようにしてください。

⑥再履修について

前年度履修科目において不合格になった科目を翌年度以降に再度履修することを再履修といい、その年度にあらためて履修することが出来ます。登録方法は、「再履修許可願」を提出するとともに、履修登録をする必要があります。具体的な手続きについては各学期開始時に指示があります。

なお、再履修科目と必修科目の受講時間が重なる場合は、各学科の教務委員の先生または教育支援課に相談してください。

⑦進級基準について

各年次から上級年次へ進級するには各年次終了時において、卒業要件単位数のうち、以下に記載する単位を修得しなければなりません。成績表で修得単位数を必ず確認してください。

1年次から2年次への進級・・・修得単位数 18単位以上

但し、保育科第二部においては、下記のとおりとします。

1年次から2年次への進級・・・修得単位数 8単位以上

2年次から3年次への進級・・・修得単位数 14単位以上

⑧卒業要件について

卒業には次の要件を満たす必要があります。

- (1) 2年以上（保育科第二部においては3年以上）在学していること。休学期間は含まれない。
- (2) 卒業に必要な授業科目及び単位数を修得していること。
- (3) 本学で必須と定めた学校行事に参加する等の条件を満たしていること。
- (4) 授業料等校納金を完納していること。

3. 授業計画 (SYLLABUS シラバス)

○授業計画 (SYLLABUS シラバス) について

今年度開講する授業の名称、担当教員の氏名、単位数、開講時期、授業の目的・内容、使用する教材、成績評価の方法、受講をする上での注意事項やアドバイスについて授業担当教員が記した授業の計画書です。

熟読をし、円滑に授業が受講できるよう心がけてください。

授業科目名	授業科目の名称						
ナンバリング	授業科目の履修の順序性や位置づけを表す記号・番号						
サブタイトル	授業内容の副題						
授業区分	※1	単位数	科目の単位数	開講時期	※2	出席要件	※3
担当教員	担当教員の氏名					授業形態	※4
質問受付の方法	授業担当教員が研究室に在室している曜日・時間が書かれています。						
到達目標と学習の成果	到達目標 授業科目の履修後に、授業担当教員が受講者に期待する知識や技能、あるいは行動に関する目標が書かれています。						
	学習成果 到達目標に対して、いかなる学習成果をもって評価するのか、その評価の基準が書かれています。						
ディプロマポリシーとの関連	授業科目が、学位授与の方針（ディプロマポリシー）とどのように関連しているかが書かれています。カリキュラムマップのどこに位置づいているかが書かれています。						
授業の方法と開講方法の別	授業科目の授業実施方法と開講方法です。						
テキスト 教材 参考図書	授業で使用する教科書です。 テキスト、参考図書以外に使用する教材です。 教科書の他に使用する参考書です。						
評価の要点	授業科目の成績評価の方法や手順です。						
評価方法と採点基準	評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。						
履修上の注意事項や学習上の助言など	履修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。						

○授業計画 (SYLLABUS シラバス) の項目について

- ※1 授業区分：聖徳教育、教養科目、専門教育科目、教職科目などが表記されます。
- ※2 開講時期：科目が開講される学期（春学期、秋学期、春学期または秋学期、通年）が表記されます。
- ※3 出席要件：学期末試験の受験資格要件（全授業回数の2/3以上出席 または 4/5以上出席）が表記されます。
- ※4 授業形態：講義、演習、実験、実習、実技などが表記されます。

授業回数別教育内容		身につく資質・能力	予習・復習等
1回	毎回の授業タイトル（テーマ）と授業内容が書かれています。	授業回数ごとに、その授業を終えた学生が、どのような知識、能力、技能等を身につけることが期待されるかという内容について書かれています。	予習・復習等に必要な具体的な内容、及びそれに必要な時間が書かれています。
2回			
3回			
4回			
5回			
6回			
7回			
8回			
9回			
10回			
11回			
12回			
13回			
14回			
15回			
試験	試験方法が書かれています。		

○授業計画 (SYLLABUS シラバス) の閲覧方法について

授業計画 (SYLLABUS シラバス) については WEB ポータルサイト「Active Academy」から閲覧します。詳細な閲覧方法は冊子『WEB 履修登録の手引』「シラバス閲覧」を参照してください。

この冊子に出てくる用語について解説します。

(出典 大学ポートレート、高等教育に関する質保証関係用語集 より)

・アクティブラーニング

教員による一方向的な講義形式の教育ではなく、学生の能動的な学習への参加を取り入れた学習方法です。例えば、グループ・ディスカッションやディベート、グループ・ワークなどを取り入れた授業のことです。学習者が能動的に学習することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図ります。

・アセスメント・テスト

ペーパーテスト等の直接評価により学生の知識、技能、態度等を測定する方法の総称。学習到達度を測る他の調査を組み合わせるなどして実施され、結果は教育効果や課題の確認に用いられる。また、学生個人の学習指導等に活用される場合もある。

・アドミッションポリシー

入学者の受入れ方針です。どのような学生を受け入れて、どのような教育を行い、どのような人材として社会に送り出すかは、大学の個性・特色の根幹ですが、アドミッションポリシーは、どのような学生を受け入れるかという方針です。大学やその学部等が、どのような教育活動を行い、また、どのような能力や適性等を有する学生を求めているのかなどの考え方をまとめたものであり、入学者の選抜方法や入試問題の出題内容等にはこの方針が反映されています。

・学習成果

学生が、授業科目、プログラム、教育課程等における所定の学習期間終了時に獲得し得る知識、技術、態度等の成果を指す。学位授与の方針において、具体的で測定可能な学習成果を定め、学習成果を評価し、その結果を公表することによって、大学の社会に対する説明責任が高まると考えられている。

卒業率、共通テストの成績、学生の満足度、学生による自己評価、就職率・進学率等によって、教育プログラムに関する学習成果を測定している。

・カリキュラムポリシー

教育課程編成・実施の方針です。どのような学生を受け入れて、どのような教育を行い、どのような人材として社会に送り出すかは、大学の個性・特色の根幹ですが、カリキュラムポリシーは、どのような教育を行うかという方針です。各大学が、カリキュラムポリシーを明確にすることで、教育課程の改善を図っていくことが求められています。

・コンピテンシー

知識や技能を有することに加えて、様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求(課題)に対応することができる力を指すことが多い。

・ディプロマポリシー

学位授与の方針です。どのような学生を受け入れて、どのような教育を行い、どのような人材として社会に送り出すかは、大学の個性・特色の根幹ですが、ディプロマポリシーは、どのような人材として社会に送り出すかという方針です。各大学が、ディプロマポリシーを明確にすることで、大学のいわゆる「出口管理」の強化を図っていくことが求められています。

・ポートフォリオ

学生が授業で作成したレポートや論文、課題達成のために収集した資料や成績表などの学修成果と、学修の過程において学んだ点や気付いた点などを記録していくものです。学期毎に自分が履修した授業の記録を残し、学期末に自分自身の成長を振り返って来学期の目標を立てるといように活用したり、大学における学修の記録をすべて残しておく、大学で何を学んだか、そのときにどのようなことを考えたかなどを振り返ることで、就職活動のときに、自分自身を振り返るために活用されます。

・ルーブリック

「学生が何を学習するのか」または「学習活動に応じた学習目標」を縦軸(評価規準)に置き、それに対し「学生が到達しているレベルを示す特徴を記述したもの」を数段階にわけて横軸(評価基準)に置き、マトリクスにしたものを使って学生の学習成果を評価する方法です。アメリカで開発された学習成果の評価方法の一つです。テストによる学習成果の評価では、知識や理解度は評価できますが、思考・判断、関心・意欲、態度、技能・表現については評価しづらかったために、このような評価方法が導入されています。あらかじめ評価の基準が示されていることから、評価する側と評価される側の認識が共有される、複数の評価者による評価のズレを防ぐことができるなどの長所があります。大学では、例えば、レポートの評価、学生の活動や作品・演出・実験の評価、プレゼンテーションやグループ活動の評価などで活用されることがあります。アメリカでは、複数の大学間で共通に活用することが可能な評価指標の開発が進められています。

聖徳大学短期大学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

聖徳大学短期大学部は、1933年に創立された東京聖徳学園の建学の精神である「和」を教育理念としています。本学は、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦するとともに、時代を超えて求められる多様な他者への尊敬と共感を大切にする人間性を備えた女性を様々な世界に輩出しています。

現代社会は、政治・経済・文化のグローバル化が進み、個人・社会の価値観が多様化・複雑化し、きわめて多くの複合的な問題に直面しています。このような変化の激しい社会において、人間の尊厳を見失わず、自ら新たな問いを立て多様な他者と協働しながら新たな価値を生むための力の育成が求められています。

聖徳大学短期大学部は、時代をリードする教育改革を進め、互いの価値観を共感的に受け止める確かな人間性、グローバルかつローカルな視点と学際的な洞察力、社会で発揮できる専門性の高い実践力をもつ人を着実に育成し、調和ある社会の発展に貢献しています。

聖徳大学短期大学部は、上記の教育理念に基づいて、以下の四つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 他者を思いやる協調性ととともに、凜として生き抜いていくための確かな人間性を育成する。
2. 自己分析力、論理的思考力、自己管理能力を活かし、個別学問領域を超えたアイデアや洞察力と多面的な問題発見・解決力を育成する。
3. 専門分野に関する理論・知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて社会で発揮できる専門性の高い実践力を育成する。
4. グローバルな視野を備え地域で活躍できる専門性の高い実践力を発揮して、自分なりの価値を見だし、自らの意思で一步を踏み出すことのできる女性を育成する。

聖徳大学短期大学部では、こうした教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

【学習成果】

1. 一流の文化・芸術がもつ普遍性と固有性を感受し、グローバルで多様な価値を受け止めることができる。
2. 思いやりと慎みの心をもって相手の立場に立ち、集団の中で自立した行動をとることができる。
3. 自己や事象を客観的かつ論理的に考察することができ、自己の生き方をデザインすることができる。
4. 個別学問領域を超えたアイデアや洞察力を活かし、自己の確立を図ることができる。
5. 専門分野に関する知識・技能を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を解決することができる。
6. 専門領域に関わる理論と知識と技能を結びつけて、グローバルかつローカルな視点をも

って、多様な実際的かつ実践的な問題や課題に主体的に、かつ協働して取り組むことができる。

聖徳大学短期大学部では、以上の学習成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

聖徳大学短期大学部では、学習成果を体系的に達成するために、全学共通科目と専門教育科目の教育課程を以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

I 全学共通科目

全学共通科目は、「聖徳教育科目」、「教養科目」、「外国語科目」等から構成しています。

「聖徳教育科目」は「小笠原流礼法基礎講座」と「聖徳教育」から編成し、聖徳学園の建学の精神「和」に基づいた本学独自の人間教育を目的とし、確かな人間性を育成します。

「教養科目」は、文化、社会、自然、身体・精神などに関わるグローバルかつ複合的な諸現象や多様な問題状況に向き合い、個別学問領域を超えたアイデアや学際的かつ多面的な洞察力と学術を総合した問題解決力を育成します。

「外国語科目」等は外国語および的確な情報によるコミュニケーション・スキルを育成し、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を育成します。

II 専門教育科目

学科の教育目的を達成するために専門性の高い実践力を育成する教育課程を編成しています。その編成は次の基本方針に基づいています。

1. 学科の専門性を習得するために不可欠な学術的な基礎力を育成します。
2. 現代的課題に対応した専門的理論と知識を学び、問題・課題解決のための基礎力を育成します。
3. 充実した演習・実習科目を設定し、実際場面における問題・課題解決を通して実践力を育成します。
4. 専門職業人として自立し、優れた感性と表現力、柔軟な思考力と行動力を備え、卒業後の現場で生きる専門性の高い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

全学科において、全学共通科目と専門教育科目の学習成果を効果的に達成するために、授業計画（シラバス）を作成して以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 「到達目標」、「学習成果」、「評価の要点」を明示し、実施しています。
2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び他の授業科目との関連を明示しています。
3. 授業方法として能動的な学び（アクティブ・ラーニング）を導入し、深い学びを促進しています。

4. 毎時間の「身につく資質・能力」と「予習・復習」時間を明記し、その実施を促進しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

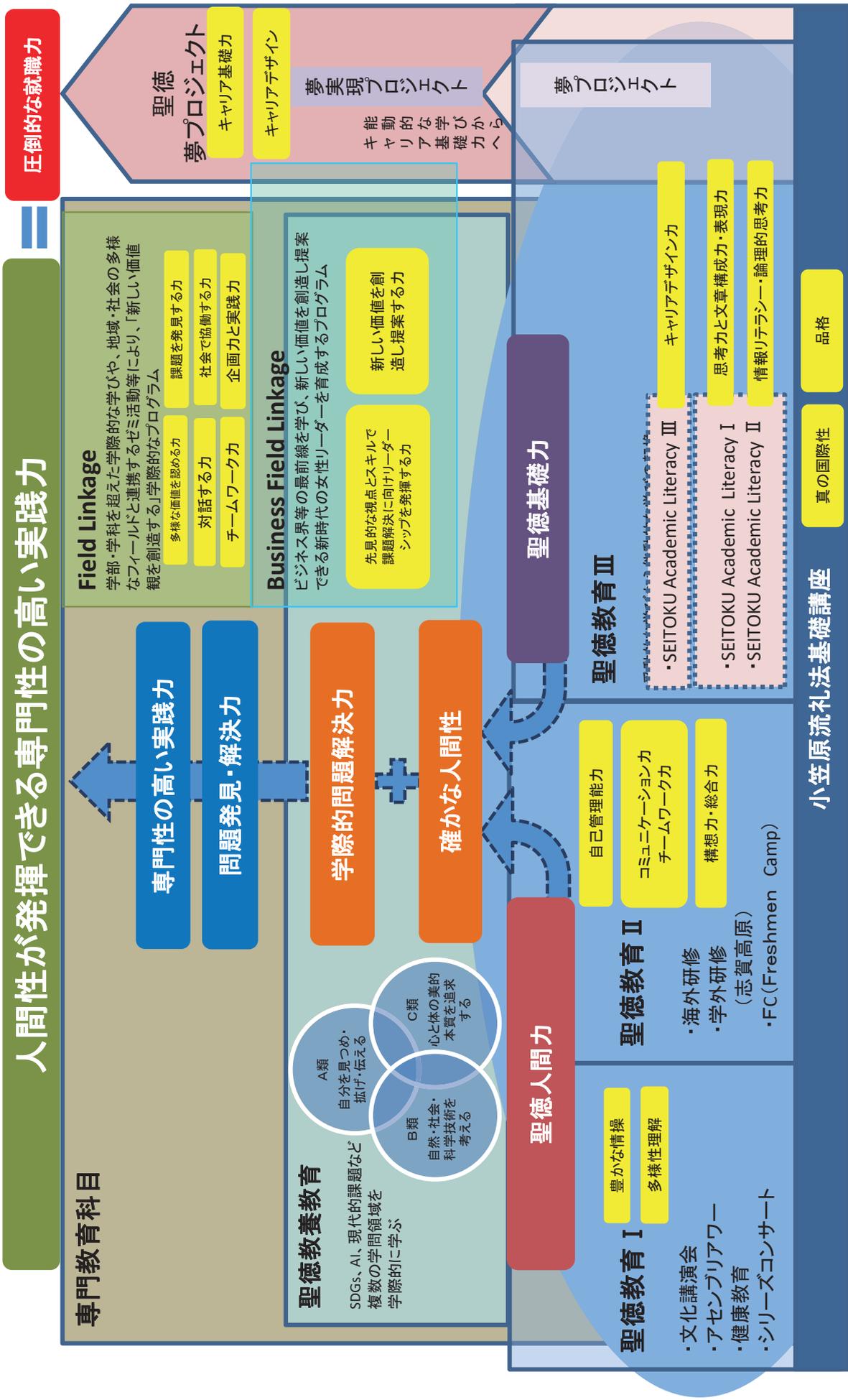
聖徳大学短期大学部は、総合大学という特質を活かして、変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな人間性、どのような社会であっても不可欠な自己分析力、論理的思考力、自己管理能力、個別学問領域を超えたアイデアや洞察力と多面的な問題発見・解決力、そしてそれらを発揮して主体的にかつ協働して課題に取り組める、社会で発揮できる聖徳ならではの専門性の高い実践力をもつ人の育成を目指しています。

聖徳大学短期大学部はこうした目的を理解し、それを達成できる資質をもった人を求めています。具体的には、次のような人を求めています。

1. 学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
2. 学びを通して、社会に貢献する夢をもっている人。
3. 学内外に必要なコミュニケーション力などの基礎を備えている人。
4. 授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。

聖徳大学短期大学部ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、各学科での学習に必要な技能、知識、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

聖徳大学の教育プログラムと学びで得られる成果 (Student Learning Outcomes)



全学共通科目 (A類)

- ① 短期大学部 全学共通科目 (A類) の教育課程は別表1、2、3、4のとおりです。
- ② 全学共通科目 (A類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

全学共通科目 (A類)					
学科	聖徳教育	教養科目と外国語	健康教育	情報活用	計
保育	6	6	2	1	15
総合文化	6	8	2	1	17

- ③ 全学共通科目 (A類) の履修については、各学科・コースの履修要項に記載の全学共通科目 (A類) 別表に基づき履修してください。

聖徳教育、教養科目、外国語科目

別表1

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	履修年次						備考	
						1		2		3			
						春	秋	春	秋	春	秋		
全学共通科目 (A類)	聖徳教育	<input type="checkbox"/> 小笠原流礼法基礎講座		2	○			●	●			春学期または秋学期に開講	
		<input type="checkbox"/> 聖徳教育 I		1	○	○	○	○					
		<input type="checkbox"/> 聖徳教育 II		1	○	○	○						
		<input type="checkbox"/> 聖徳教育 III (SEITOKU Academic Literacy I)		1	○	○							
		<input type="checkbox"/> 聖徳教育 III (SEITOKU Academic Literacy II)		1	○	○							
	教養科目	A類	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える (芸術領域)		2		○	○	○				春学期または秋学期に開講
			<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える (文学領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える (歴史領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える (文化領域 I)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える (文化領域 II・インターンシップ)	演	2	○	○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える (看護領域)		2		○	○	○				
		B類	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える (自然領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える (科学技術領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える (社会領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える (環境領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える (健康領域)		2		○	○	○				
		C類	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する (心の領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する (からだの領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する (栄養領域)		2		○	○	○				
			<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する (スポーツ領域)		2		○	○	○				
<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する (ケア領域)			2		○	○	○						
D類	<input type="checkbox"/> 日本国憲法		2	◇			●	●			春学期または秋学期に開講		
	<input type="checkbox"/> 社会貢献の理論と実践	演	1	○	*		*						
	<input type="checkbox"/> 地域貢献活動の実践	演	1	○		*	*						
Business Field Linkageプログラム	共通	<input type="checkbox"/> ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●	●		いずれかの学期で履修		
		<input type="checkbox"/> キャリア教育関連科目※											
	価値増幅型マネジメント副専攻	<input type="checkbox"/> 現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修		
		<input type="checkbox"/> 法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2		●	●	●		いずれかの学期で履修			
		<input type="checkbox"/> 就活にも役立つメディアリテラシー		2		●	●	●				いずれかの学期で履修	
		<input type="checkbox"/> 戦略的ビジネスマネジメント		2			○						
	グローバル人材育成副専攻	<input type="checkbox"/> 国際社会問題を考える		2		●	●	●		いずれかの学期で履修			
		<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション		2			○						
		<input type="checkbox"/> Practical English Communication I		2		○							
		<input type="checkbox"/> Practical English Communication II		2				○					
		<input type="checkbox"/> Practical English Communication III		2					○				
	ビジネス再生・創生副専攻	<input type="checkbox"/> 新時代のリーダーシップデザイン		2		●	●	●		いずれかの学期で履修			
		<input type="checkbox"/> 戦略的ビジネスプランニング		2		●	●	●					
		<input type="checkbox"/> 顧客価値を創出するマーケティング		2		●	●	●					
	ビジネス・データサイエンス副専攻	<input type="checkbox"/> 文系人材のためのDX・AIリテラシー		2		●	●	●		いずれかの学期で履修			
<input type="checkbox"/> ビジネス・データサイエンス I			2		●	●	●						
<input type="checkbox"/> ビジネス・データサイエンス II			2		●	●	●						
<input type="checkbox"/> ビジネス・データサイエンス III			2				○						
地域活性化・価値創造副専攻	<input type="checkbox"/> 地域社会の価値を創造する実践論		2			○							
	<input type="checkbox"/> 行政の役割を体験するインターンシップ		2				○						
	<input type="checkbox"/> 行政の理解と試験対策		2					○					
外国語科目	<input type="checkbox"/> 英語 I ~1	演	1	○	○								
	<input type="checkbox"/> 英語 I ~2	演	1	○	○								
	<input type="checkbox"/> フランス語 I ~1	演	1										
	<input type="checkbox"/> フランス語 I ~2	演	1										
	<input type="checkbox"/> 中国語 I ~1	演	1										
	<input type="checkbox"/> 中国語 I ~2	演	1										
	<input type="checkbox"/> 英語 II ~1	演	1	★		○							
	<input type="checkbox"/> 英語 II ~2	演	1	★			○						
計				60									

* 小笠原流礼法基礎講座: 在学中に小笠原流礼法基礎講座2単位が全学生に必修として開講されます。

* 「社会貢献の理論と実践」については総合文化学科は1年次春学期、保育科は2年次春学期に実施します。

* 「地域貢献活動の実践」については総合文化学科は1年次秋学期、保育科は2年次秋学期に実施します。

◇ 保育科第一部・第二部の学生は必修。

★ 総合文化学科の学生は必修。

※ キャリア教育関連科目は各学科教育課程の設定による。

※ ○ は配当年次を示す。● はいずれかの学期で履修することを示す。

< 副専攻履修について >

Business Field Linkageプログラムの科目から20単位以上修得すると学んだことを認証する「修了証」を授与します。必要な要件は下記の通りです。

① 自分の目標とするキャリアに合わせた副専攻を上記5つの副専攻から選択し、その副専攻に該当する必修科目と共通必修科目「ビジネス・フィールド・リンケージ原論」、他の副専攻の科目と併せて20単位を修得すること。

② 修得単位 (共通区分を除く) の取り扱いについては、次のとおり教養科目の単位に6単位まで充当することができます。

(但し「ビジネス・データサイエンス I、II、III」及び「Practical English Communication I、II、III」は除く)

③ 副専攻を申請しなくても必要な科目を履修することができます。

④ 履修する科目はキャップ制の対象外とします。

⑤ 履修状況については、各学期の成績通知票において履修済みの科目の成績を確認することができます。

健康教育科目

別表2

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次						備考
					1		2		3		
					春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅰ	※	1		○						
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅱ	※	1			○					
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1		○						
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1			○					
	計		4								

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

【受講区分】保育科第一部、第二部は基礎専門体育Ⅰ・Ⅱ必修。

総合文化学科はスポーツと健康Ⅰ・Ⅱ必修。

情報活用科目

別表3

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次						備考
					1		2		3		
					春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○						
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1			○					
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(応用)	演	1								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(統計)	演	1								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(表現)	演	1								
	計		5								

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 1) 教育職員免許状を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)必修。

2) 情報活用科目を2単位以上修得した場合、1単位のみは教養科目の単位に含めることができる。

帰国子女科目

別表4

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	履修年次				備考
				1		2		
				春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ～1	演	1	○				
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ～2	演	1		○			
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ～1	演	1			○		
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ～2	演	1				○	
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ～1	演	1					
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ～2	演	1					
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅰ		2					
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅱ		2					
	計		10					

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

(注)帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。

保育科 第一部・第二部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

聖徳大学短期大学部保育科は、理論と技術を兼ね備え、実践力に優れた多くの保育者を社会に輩出してきました。現代社会においては、個人・社会の価値観の多様化が進み、子どもを取り巻く環境も大きく変化し、保育現場では、これまで以上に質の高い教育・保育と、地域の課題解決に積極的に取り組める人材が求められています。

保育科では、現代社会の問題・課題にも対応できるよう、社会人として、保育者として、礼節、豊かな人間性、高度な専門的知識・技能・創造力を身につけ、子どもの教育・保育に関わる専門家としての情熱や使命感をもった保育者「次代をつくる“保育のエキスパート”」を養成します。

【教育目標】

保育科は、上記の教育方針に基づいて、以下の三つの教育目標を掲げます。

1. 礼節と思いやりの心、豊かな人間性、保育者としての使命感や責任感を育成する。
2. 保育実践に必要な論理的思考力、判断力、表現力、創造力、他者と連携・協働する力等、保育者に求められる実践力を育成する。
3. 子育て支援を担う力、地域に貢献できる力を育成する。

【学習成果】

保育科では、上記の教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

1. 豊かな人間性を有し、他者を尊重し、良好な人間関係を構築することができる。
2. 子どもの成長・発達を理解し、一人ひとりの子どもに適切な援助をすることができる。
3. 表現技能・創造する力を修得し、子どもの表現を創造する過程を援助することができる。
4. 指導計画を立案し、保育実践を創意工夫し、改善に取り組み、保育の質を高めることができる。
5. 他者と協働して地域の保育課題に取り組み、提案、発信ができる。

保育科では、以上の学習成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、短期大学士（保育）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

保育科では、学習成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 子どもを理解する力を育成する科目群を設定し、教育・保育・心理・福祉・保健等の学習を通じて、子どもを広く理解し、その成長発達について考察する力を育成する。

2. 表現を創造する力を育成する科目群を設定し、感性を磨き、表現を創造する力を高め、保育実践力を育成する。
3. 保育を創造する力を育成する科目群を設定し、保育の内容への理解を深め、指導力を育成する。
4. 地域で学ぶ科目群を設定し、フィールドワーク等を通じて、保育者として地域の保育課題に取り組む姿勢を育成する。
5. 保育現場で学ぶ科目群を設定し、実習指導や実習を通じて、子どもを真に理解しようとする姿勢と保育実践力、対人関係能力を育成する。

【教育課程実施の方針】

保育科では、学習成果を効果的に達成するために、以下の教育課程実施の方針を示し、学生が自らの長所を発見し伸長できる学習を展開しています。

1. 実習指導、地域で学ぶ科目等において自己評価を導入し、学生が自らの達成度を確認し、それを教員と共有し、以後の学習に活かすことにより、学習効果を高める。
2. 地域で学ぶ科目群においてはフィールドワークを実施し、ゼミナールにおいて課題解決的な学びを深める。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

保育科では、豊かな人間性を備えた保育者、理論と実践力を備えた保育者、地域に貢献できる保育者を養成することを教育目標として掲げ、教育目標の達成のために、充実した教育課程を編成しています。保育科の教育目標を理解し、カリキュラムの学習に積極的に臨む人を、受け入れます。

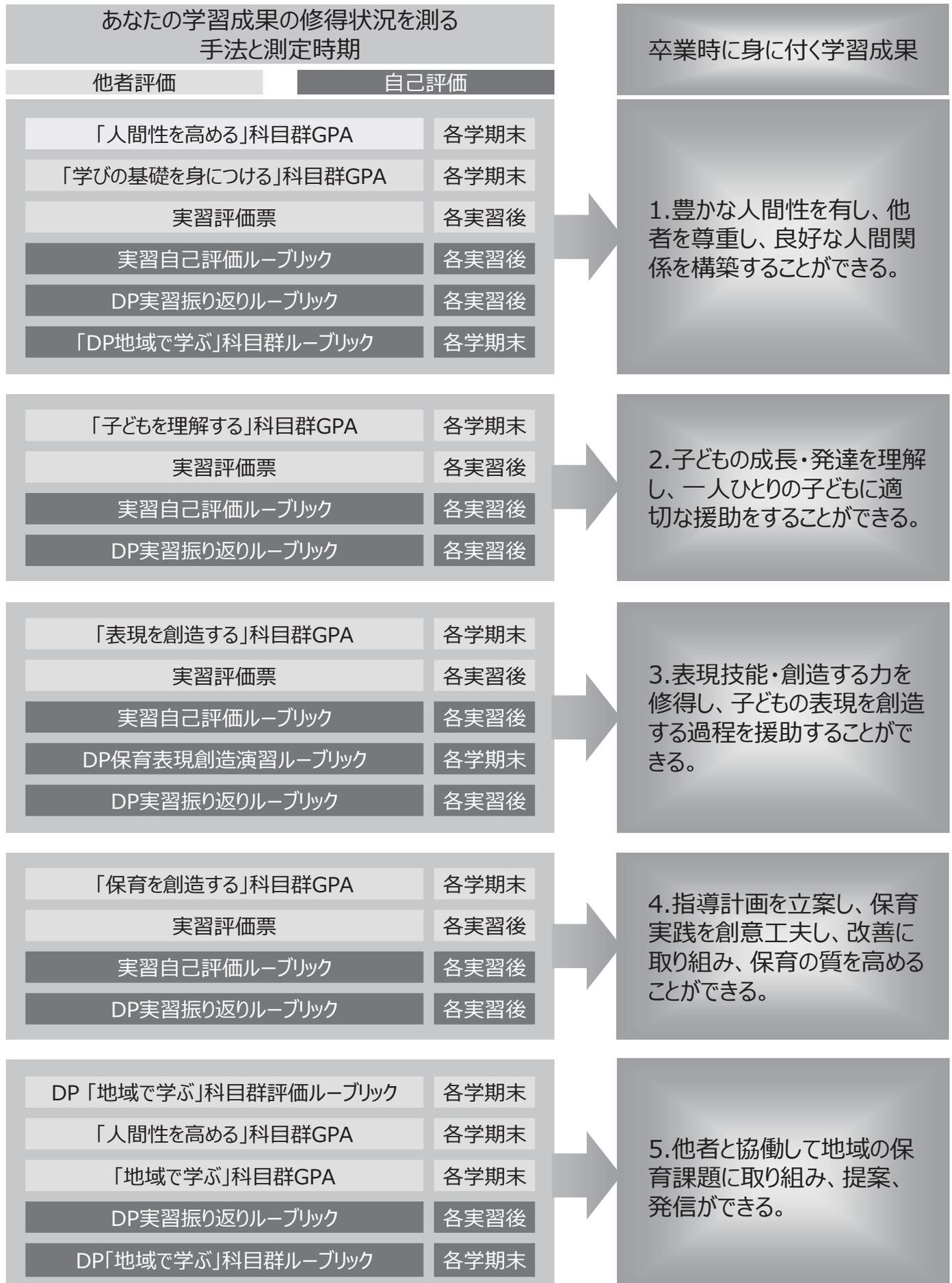
具体的には、次のような知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力や、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度、明確な目標をもつ人を求めています。

1. 教育、保育、福祉に関心をもち、保育者になる意欲がある。
2. 子どもや子どもを取り巻く環境に関心をもち、自分の考えを述べることができる。
3. 文章を理解し、考え、それをまとめる力、プレゼンテーション力を身につけている。
4. 身体表現、造形表現、音楽表現等の活動を積極的に楽しむことができる。
5. グループ学習、課外活動やボランティア活動等で、仲間と協働して学習ができる。

このような受験生を受け入れるために、多様な受験機会をもち、入学試験では、個別面接、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験などを組み合わせて総合的に評価します。

短期大学部 保育科

学習成果の修得状況を測る手法と時期



保育科第一部 履修要項

- (1) 保育科第一部の卒業所用単位数は、次表のとおりです。
幼稚園教諭二種免許又は、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。

取得免許・資格	全学共通科目(A類)					専門教育科目(B類)			計 (単位)
	聖徳教育	教養科目と外国語	健康教育	情報活用	計	必修科目	選択科目	計	
幼稚園教諭二種	6	6	2	2	16	53	—	53	69
保育士	6	6	2	1	15	66	—	66	81
両方取得	6	6	2	2	16	81	—	81	97

- (2) 全学共通科目(A類)については、別表5-1のとおり履修すること。
 (3) 教養科目と外国語科目6単位には、外国語2単位を含んでいること。
 (教養科目と日本国憲法及び地域貢献科目の計4単位、外国語は英語2単位を履修すること。さらに、幼稚園教諭二種免許状を選択する場合は、情報活用演習(教職)が必修です。)
 (4) 専門教育科目は、別表7-2の「A群(幼)」欄の○の科目もしくは「B群(保)」欄の○の科目全てと、△▲印の科目が選択必修です。
 (5) 幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、別表7-2の「A群(幼)」欄の○印の科目が必修です。
 (6) 保育士資格を取得しようとする者は、別表7-2の「B群(保)」欄の○印の科目が必修です。
 (7) 保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習Ⅱ(保育所)及び保育実習指導Ⅱ(保育所)」又は「保育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指導Ⅲ(施設)」のいずれか2科目3単位を履修すること。
 (8) 准学校心理士、図書館司書、秘書士を取得しようとする者は、後掲の別表7「准学校心理士」、別表8「図書館司書」、別表9「秘書士」科目を修得すること。なお、「図書館司書」、「秘書士」の科目は、上記の卒業所要単位数には含まれません。
 (9) 履修期に○印を付されたとおり履修すること。●印は時間割編成の関係上春学期もしくは秋学期に開講するので時間割指定のとおり履修すること。
 (10) 授業の方法欄の「演」印は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示します。

全学共通科目(A類)

別表5-1

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	履修年次				備考	
						1		2			
						春	秋	春	秋		
聖徳教育	<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○						
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ		1	○	○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ		1	○	○		○			
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	○	○					
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy II)	演	1	○		○				
A類	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2			○	○	○		
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			○	○	○		
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			○	○	○		
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅰ)		2			○	○	○		
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	2		○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(看護領域)		2			○	○	○		
	B類	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			○	○	○	
		<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			○	○	○	
		<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			○	○	○	
		<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			○	○	○	
		<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(健康領域)		2			○	○	○	
	C類	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			○	○	○	
		<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			○	○	○	
		<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			○	○	○	
		<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			○	○	○	
<input type="checkbox"/>		心とからだの美的本質を追求する(ケア領域)		2			○	○	○		
D類	<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○				○		
	<input type="checkbox"/>	社会貢献の理論と実践	演	1	○				○		
	<input type="checkbox"/>	地域貢献活動の実践	演	1	○				○		
B u s i n e s s F i e l d L i n k a g e P r o g r a m	共通	<input type="checkbox"/>	ビジネス・フィールド・リンクage原論		1		●	●	●	いずれかの学期で履修	
		<input type="checkbox"/>	キャリア教育関連科目※							※13ページ下段(副専攻について)を参照	
	価値増幅型 マネジメント副専攻	<input type="checkbox"/>	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●	いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2			●		●	いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	就活にも役立つメディアリテラシー		2		●		●		いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	戦略的ビジネスマネジメント		2				○		
	グローバル 人材育成副専攻	<input type="checkbox"/>	国際社会問題を考える		2			●		●	いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーション		2				○		
		<input type="checkbox"/>	Practical English Communication I		2			○			
		<input type="checkbox"/>	Practical English Communication II		2					○	
	ビジネス再生・ 創生副専攻	<input type="checkbox"/>	Practical English Communication III		2					○	
		<input type="checkbox"/>	新時代のリーダーシップデザイン		2			●		●	いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	戦略的ビジネスプランニング		2				○		
	ビジネス・データ サイエンス副専攻	<input type="checkbox"/>	顧客価値を創出するマーケティング		2			●		●	いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2			●		●	いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅠ		2		●		●		いずれかの学期で履修	
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅡ		2			●		●	いずれかの学期で履修	
地域活性化・ 価値創造副専攻	<input type="checkbox"/>	ビジネス・データサイエンスⅢ		2					○		
	<input type="checkbox"/>	地域社会の価値を創造する実践論		2				○			
	<input type="checkbox"/>	行政の役割を体験するインターンシップ		2					○		
外国語	<input type="checkbox"/>	行政の理解と試験対策		2					○		
	<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ～1	演	1	○	○					
	<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ～2	演	1	○		○				
	<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ～1	演	1			○				
健康教育	<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ～2	演	1				○			
	<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅰ	※	1	○	○					
情報活用	<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅱ	※	1	○		○				
	<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○					
	<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1			○			幼稚園教諭二種免許取得希望者は必修	
計					15						

保育科第一部 専門教育科目(B類)

別表5-2

デ ネ ッ ク 種	授 業 科 目	履 修 の 方 法	単 位	A (幼 群)	B (保 群)	両 方	履修期				備 考	
							1		2			
							春	秋	春	秋		
専 門	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現A	演	4	○	○	○	○	○	○	○	健康が春の場合は環境が秋 人間関係が春の場合は言葉が秋 環境が春の場合は健康が秋 言葉が春の場合は人間関係が秋	
	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現B	演	1	○	○	○	○					
	<input type="checkbox"/> 幼児と造形表現	演	1	○	○	○		○				
	<input type="checkbox"/> 幼児と身体表現	演	1	○	○	○			○			
	<input type="checkbox"/> 幼児と健康	演	1	○	○	○	●	●				
	<input type="checkbox"/> 幼児と人間関係	演	1	○	○	○	●	●				
	<input type="checkbox"/> 幼児と環境	演	1	○	○	○	●	●				
	<input type="checkbox"/> 幼児と言葉	演	1	○	○	○	●	●				
	<input type="checkbox"/> 児童文化Ⅰ～1	演	1	○	○	○	○				△印の科目のうち、1科目は必修。 (全て履修することが望ましい。)	
	<input type="checkbox"/> 児童文化Ⅱ～1	演	1	○	○	○	○					
	<input type="checkbox"/> 児童文化Ⅲ～1	演	1	○	○	○			○			
	<input type="checkbox"/> 児童文化Ⅰ～2	演	1	△	△	△				○		
	<input type="checkbox"/> 児童文化Ⅱ～2	演	1	△	△	△				○		
	<input type="checkbox"/> 児童文化Ⅲ～2	演	1	△	△	△				○		
	専 門	<input type="checkbox"/> 保育内容総論	演	1	○	○	○			○		健康が春の場合は環境が秋 人間関係が春の場合は言葉が秋 環境が春の場合は健康が秋 言葉が春の場合は人間関係が秋
		<input type="checkbox"/> 保育内容・健康	演	1	○	○	○			●	●	
		<input type="checkbox"/> 保育内容・人間関係	演	1	○	○	○			●	●	
		<input type="checkbox"/> 保育内容・環境	演	1	○	○	○			●	●	
		<input type="checkbox"/> 保育内容・言葉	演	1	○	○	○			●	●	
		<input type="checkbox"/> 保育内容・音楽表現Ⅰ	演	1	○	○	○			○		
<input type="checkbox"/> 保育内容・音楽表現Ⅱ		演	1							○		
<input type="checkbox"/> 保育内容・造形表現		演	1	○	○	○			○			
<input type="checkbox"/> 保育表現創造演習Ⅰ		演	1	○	○	○				○		
<input type="checkbox"/> 保育表現創造演習Ⅱ		演	1	○	○	○				○		
教 育 科 目	<input type="checkbox"/> 保育原理Ⅰ		2	○	○	○	○					
	<input type="checkbox"/> 教育原理		2	○	○	○	●	●				
	<input type="checkbox"/> 教職入門		2	○	○	○	●	●				
	<input type="checkbox"/> 保育・教育課程論		2	○	○	○		○				
	<input type="checkbox"/> 子ども家庭福祉		2		○	○	○					
	<input type="checkbox"/> 社会福祉		2		○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援論		2		○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 社会的養護Ⅰ		2		○	○			○			
	<input type="checkbox"/> 社会的養護Ⅱ	演	1		○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 子育て支援	演	1		○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 発達心理学		2	○	○	○	○					
	<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援の心理学		2		○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 子どもの理解と援助	演	1		○	○			○			
	<input type="checkbox"/> 子どもの保健		2	○	○	○	○					
	<input type="checkbox"/> 子どもの食と栄養	演	2		○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 乳児保育Ⅰ		2		○	○			○			
	<input type="checkbox"/> 乳児保育Ⅱ	演	1		○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 子どもの健康と安全	演	1		○	○			○			
<input type="checkbox"/> 特別な支援を要する子どもの理解と支援	演	2	○	○	○	○						
教 育 科 目	<input type="checkbox"/> 教育制度論		1	○	○	○			●	●		
	<input type="checkbox"/> 教育方法論		2	○	○	○			●	●		
	<input type="checkbox"/> 幼児理解・保育相談		2	○	○	○			○			
	<input type="checkbox"/> 教育相談		1	○	○	○	○					
	<input type="checkbox"/> 保育・教職実践演習(幼稚園)	演	2	○	○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 幼児教育実習指導(事前・事後指導)	実	1	○	○	○	○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 幼児教育実習Ⅰ(附属幼稚園実習)	実	2	○	○	○		○				
	<input type="checkbox"/> 幼児教育実習Ⅱ(指定幼稚園実習)	実	2	○	○	○				○		
	<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅰ	演	2		○	○			○	○		
	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅰ(保育所)	実	2		○	○				○		
<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅰ(施設)	実	2		○	○				○			
<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1		△	△			○	○	保育士資格を取得しようとする者は、「保育実 習Ⅱ(保育所)及び保育実習指導Ⅱ(保育 所)又は「保育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指 導Ⅲ(施設)」のいずれか2科目3単位を選択履 修すること		
<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅱ(保育所)	実	2		△	△				○			
<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1		▲	▲			○	○			
<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅲ(施設)	実	2		▲	▲				○			
<input type="checkbox"/> 卒業研究	演	2										
<input type="checkbox"/> キャリア総合演習	演	1	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/> 社会貢献の入門	演	1	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/> 保育表現法Ⅰ	演	1										
単 位 計			90	53	66	81						

保育科第二部 履修要項

- (1) 保育科第二部の卒業所用単位数は次表のとおりです。
幼稚園教諭二種免許又は、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。

取得免許・資格	全学共通科目(A類)					専門教育科目(B類)			計 (単位)
	聖徳教育	教養科目 と外国語	健康 教育	情報 活用	計	必修 科目	選択科 目	計	
幼稚園教諭二種	6	6	2	2	16	56	—	56	72
保育士	6	6	2	1	15	69	—	69	84
両方取得	6	6	2	2	16	84	—	84	100

- (2) 全学共通科目(A類)については、別6-1のとおり履修すること。
 (3) 教養科目と外国語科目6単位には、外国語2単位を含んでいること。
 (教養科目と日本国憲法及び地域貢献科目の計4単位、外国語は英語2単位を履修すること。さらに、幼稚園教諭二種免許状を選択する場合は、情報活用演習(教職)が必修です。)
 (4) 専門教育科目は、別表6-2の「A群(幼)」欄の○の科目もしくは「B群(保)」欄の○の科目全てと、△▲印の科目が選択必修です。
 (5) 幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、別表6-2の「A群(幼)」欄の○印の科目が必修です。
 (6) 保育士資格を取得しようとする者は、別表6-2の「B群(保)」欄の○印の科目が必修です。
 (7) 保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習Ⅱ(保育所)及び保育実習指導Ⅱ(保育所)」又は「保育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指導Ⅲ(施設)」のいずれか2科目3単位を履修すること。
 (8) 准学校心理士を取得しようとする者は、後掲の別表7「准学校心理士」科目を修得すること。
 (9) 履修期に○印を付されたとおり履修すること。●印は時間割編成の関係上春学期もしくは秋学期に開講するので時間割指定のとおり履修すること。
 (10) 授業の方法欄の「演」印は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示します。

全学共通科目(A類)

別表6-1

区分	チエック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	履修年次						備考		
						1		2		3				
						春	秋	春	秋	春	秋			
聖徳教育	<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○									
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ		1	○	○	○	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ		1	○	○				○				
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅠ)	演	1	○	○								
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅡ)	演	1	○		○							
教養	<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○							○		
	<input type="checkbox"/>	社会貢献の理論と実践	演	1	○			○						
	<input type="checkbox"/>	地域貢献活動の実践	演	1	○				○					
B u s i n e s s	共通	<input type="checkbox"/>	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●	●			いずれかの学期で履修	
		<input type="checkbox"/>	キャリア教育関連科目※										※13ページ下段(副専攻について)を参照	
F i e l d	価値増幅型 マネジメント 副専攻	<input type="checkbox"/>	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修	
		<input type="checkbox"/>	法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2			●		●			いずれかの学期で履修	
		<input type="checkbox"/>	就活にも役立つメディアリテラシー		2		●		●				いずれかの学期で履修	
		<input type="checkbox"/>	戦略的ビジネスマネジメント		2					○				
		<input type="checkbox"/>	国際社会問題を考える		2			●		●				いずれかの学期で履修
L i n k a g e p r o g r a m	グローバル 人材育成 副専攻	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーション		2				○					
		<input type="checkbox"/>	Practical English CommunicationⅠ		2				○					
		<input type="checkbox"/>	Practical English CommunicationⅡ		2					○				
		<input type="checkbox"/>	Practical English CommunicationⅢ		2									
		<input type="checkbox"/>	新時代のリーダーシップデザイン		2			●		●				いずれかの学期で履修
地 域 活 性 化 ・ 価 値 創 造 副 専 攻	ビジネス再生 ・創生副専攻	<input type="checkbox"/>	戦略的ビジネスプランニング		2				○					
		<input type="checkbox"/>	顧客価値を創出するマーケティング		2			●		●				いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2			●		●				いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	ビジネス・データサイエンスⅠ		2		●		●					いずれかの学期で履修
		<input type="checkbox"/>	ビジネス・データサイエンスⅡ		2			●		●				いずれかの学期で履修
外 国 語	地域活性化・ 価値創造 副専攻	<input type="checkbox"/>	ビジネス・データサイエンスⅢ		2				○					
		<input type="checkbox"/>	地域社会の価値を創造する実践論		2				○					
		<input type="checkbox"/>	行政の役割を体験するインターンシップ		2					○				
健康教育	外国語	<input type="checkbox"/>	行政の理解と試験対策		2									
		<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ～1	演	1	○	○							
		<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ～2	演	1	○		○						
		<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ～1	演	1				○					
情報活用	健康教育	<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ～2	演	1					○				
		<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅰ	※	1	○	○							
計	情報活用	<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅱ	※	1	○	○							
		<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○							
		<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1			○					幼稚園教諭二種免許状取得希望者は必修	
			計		15									

保育科第二部 専門教育科目(B類)

別表6-2

テニシク種	授業科目	授業の方法	単位	A(幼)	B(保)	両方	履修期						備考
							1		2		3		
							春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	幼児と音楽表現A	演	6	○	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	幼児と音楽表現B	演	1	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	幼児と造形表現	演	1	○	○	○		○					
<input type="checkbox"/>	幼児と身体表現	演	1	○	○	○							
<input type="checkbox"/>	幼児と健康		1	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	幼児と人間関係		1	○	○	○		○					
<input type="checkbox"/>	幼児と環境		1	○	○	○		○					
<input type="checkbox"/>	幼児と言葉		1	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	児童文化Ⅰ	演	1	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	児童文化Ⅱ	演	1	○	○	○		○					
<input type="checkbox"/>	児童文化Ⅲ～1	演	1	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	児童文化Ⅲ～2	演	1	○	○	○				○			
<input type="checkbox"/>	保育内容総論	演	1	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	保育内容・健康	演	1	○	○	○				○			
<input type="checkbox"/>	保育内容・人間関係	演	1	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	保育内容・環境	演	1	○	○	○				○			
<input type="checkbox"/>	保育内容・言葉	演	1	○	○	○					○		
<input type="checkbox"/>	保育内容・音楽表現Ⅰ	演	1	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	保育内容・音楽表現Ⅱ	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	保育内容・造形表現	演	1	○	○	○				○			
<input type="checkbox"/>	保育表現創造演習Ⅰ	演	1	○	○	○					○		
<input type="checkbox"/>	保育表現創造演習Ⅱ	演	1	○	○	○						○	
<input type="checkbox"/>	保育原理Ⅰ		2	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	教育原理		2	○	○	○		○					
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	保育・教育課程論		2	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	子ども家庭福祉		2		○	○			○				
<input type="checkbox"/>	社会福祉		2		○	○					○		
<input type="checkbox"/>	子ども家庭支援論		2		○	○					○		
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅰ		2		○	○				○			
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅱ	演	1		○	○					○		
<input type="checkbox"/>	子育て支援	演	1		○	○						○	
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	子ども家庭支援の心理学		2		○	○			○				
<input type="checkbox"/>	子どもの理解と援助	演	1		○	○			○				
<input type="checkbox"/>	子どもの保健		2	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	子どもの食と栄養	演	2		○	○						○	
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅰ		2		○	○				○			
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅱ	演	1		○	○					○		
<input type="checkbox"/>	子どもの健康と安全	演	1		○	○				○			
<input type="checkbox"/>	特別な支援を要する子どもの理解と支援	演	2	○	○	○				○			
<input type="checkbox"/>	教育制度論		1	○	○	○						○	
<input type="checkbox"/>	教育方法論		2	○	○	○						○	
<input type="checkbox"/>	幼児理解・保育相談		2	○	○	○			○				
<input type="checkbox"/>	教育相談		1	○	○	○				○			
<input type="checkbox"/>	保育・教職実践演習(幼稚園)	演	2	○	○	○						○	
<input type="checkbox"/>	グループ研究	演	2	○	○	○					○	○	
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習指導(事前・事後指導)	実	1	○	○	○	○	○	○				
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習Ⅰ(附属幼稚園実習)	実	2	○	○	○		○					
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習Ⅱ(指定幼稚園実習)	実	2	○	○	○				○			
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅰ	演	2		○	○				○	○		
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅰ(保育所)	実	2		○	○					○		
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅰ(施設)	実	2		○	○						○	
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1		△	△					○	○	
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅱ(保育所)	実	2		△	△						○	
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1		▲	▲					○	○	
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅲ(施設)	実	2		▲	▲						○	
<input type="checkbox"/>	キャリア総合演習	演	1	○	○	○	○						
単 位 計			88	56	69	84							

保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習Ⅱ(保育所)及び保育実習指導Ⅱ(保育所)又は「保育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指導Ⅲ(施設)」のいずれか2科目3単位を選択履修すること。

次代をつくる“保育のエキスパート”

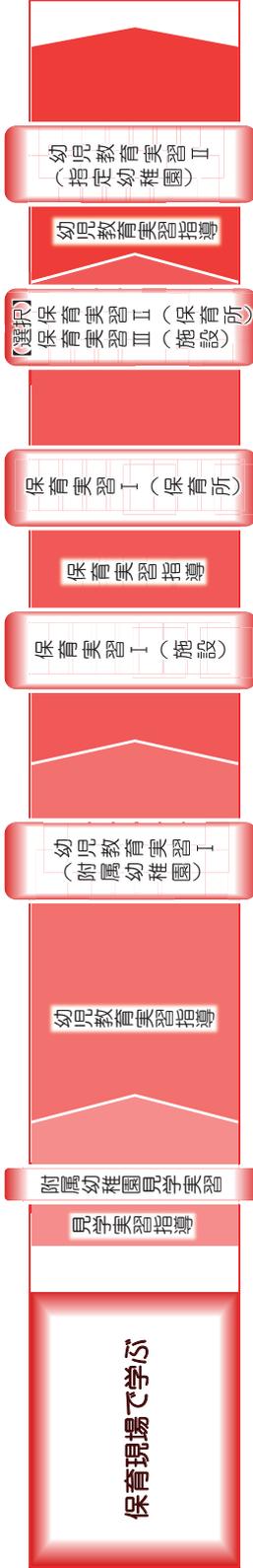
令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 保育科第一部 実習をコアにしたキャリア形成カリキュラムマップ

保育者への扉を開こう

子どもの世界に
ふみこもう

自分の力を
ためてみよう

感性豊かな保育者に



	社会貢献の入門	社会貢献の理論と実践	地域貢献活動の実践
保育現場で学ぶ	保育内容総論 幼児と健康 (専修時おお修期) 幼児と言葉 (専修時おお修期) 子どもの理解と援助 特別な支援を要する子どもの理解と支援 子どもの健康と安全	保育内容・健康 (専修時おお修期) 保育内容・人間関係 (専修時おお修期) 乳児保育Ⅱ 社会的養護Ⅱ	保育・教職実践演習 (幼稚園) 保育内容・環境 (専修時おお修期) 保育内容・言葉 (専修時おお修期) 子どもの食と栄養 子育て支援
保育を創造する	幼児と音楽表現A 幼児と音楽表現B 児童文化Ⅰ～1 児童文化Ⅱ～1 基礎専門体育Ⅰ	保育表現創造演習Ⅰ 幼児と音楽表現A 幼児と身体表現 保育内容・音楽表現Ⅰ 保育内容・造形表現 児童文化Ⅱ～1	保育表現創造演習Ⅱ 幼児と音楽表現A 〔選択必修〕児童文化Ⅰ～2 〔選択必修〕児童文化Ⅱ～2 〔選択必修〕児童文化Ⅲ～2
表現を創造する	発達心理学 保育原理Ⅰ 子ども家庭福祉 教育相談 教育原理 (専修時おお修期) 子どもの保健	乳児保育Ⅰ 保育・教育課程論 社会的養護Ⅰ 教職入門 (専修時おお修期)	子ども家庭支援論 教育方法論 (専修時おお修期) 社会福祉 幼児理解・保育相談
子どもを理解する	情報活用演習 (基礎) SEITOKU Academic Literacy I キャリア総合演習	情報活用演習 (教職)	
学びの基礎を身につける	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 英語Ⅰ～1	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 〔選択〕英語Ⅱ～2 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 〔選択〕英語Ⅱ～2 小笠原流礼法基礎講座 日本国憲法
人間性を高める	1 年次春学期 保育職への意欲を向上させる 初学への姿勢を確立する	1 年次秋学期 保育実践を理解する	2 年次春学期 基礎的な保育実践力を修得する
	1 年次春学期 保育職への意欲を向上させる 初学への姿勢を確立する	1 年次秋学期 保育実践を理解する	2 年次秋学期 保育者として必要な 資質・能力を修得する

次代をつくる“保育のエキスパート”

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 保育科第一部 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

保育者への扉を開こう

子どもの世界に
ふみこもう

自分の力を
ためしなよう

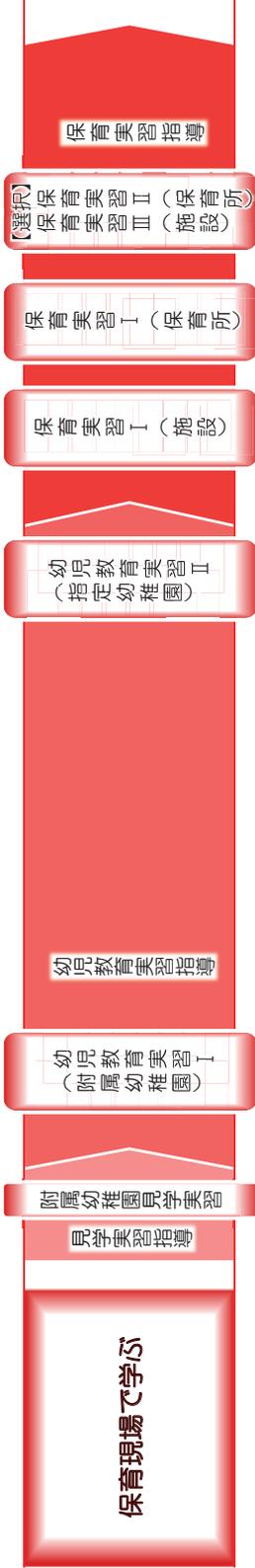
感性豊かな保育者に

学習成果	学術的・専門的知識	実践的知識・技能	態度・価値観	総合的学習成果
保育現場で学ぶ	子どもの実態や保育者の援助について理解することができる。	子どものための施設の機能と役割、保育者の職務や役割を理解することができる。	子どものための施設の機能と役割、保育者の職務や役割を深く理解することができ、保育実践力が身についている。	学位授与の方針に掲げる学習成果
地域で学ぶ	子育て支援活動ができるようになるための基礎的・実践的知識・技能が身についている。	子育て支援活動を理解することができ、実践するための基礎的知識・技能が身についている。	子育て支援活動に必要な実践的知識・態度が身についている。	豊かな人間性を有し、他者を尊重し、良好な人間関係を構築することができる。
保育を創造する	保育を創造する際に必要となる基礎的な知識を理解することができる。	保育を創造するために必要な、子ども一人ひとりに応じた援助方法を理解することができる。	保育を創造するために必要な、保育を構想・展開・省察する保育実践力が身についている。	子どもの成長・発達を理解し、一人ひとりの子どもに適切な援助をすることができる。
表現を創造する	表現を創造する際に必要となる基礎的な知識・技能を理解することができる。	子どもが表現を創造する過程を理解することができる。	子どもが表現を創造する過程を援助できる力が身につくことができ、保育実践に活かすことができる。	表現技能・創造する力を修得し、子どもへの表現を創造する過程を援助することができる。
子どもを理解する	子どもの成長・発達について、基礎的な知識が身についている。	子どもの成長・発達について、理論と実践を結び付けて理解することができる。	子どもの成長・発達について、理論と実践を結び付けて理解し、保育実践に活かすことができる。	指導計画を立案し、保育実践を創意工夫し、改善に取り組み、保育の質を高めることができる。
学びの基礎を身につける	自己分析力を身につけ、自身のキャリアについて考えることができる。	論理的思考力を身につけ、情報を適切に扱うことができる。		他者と協働して地域の保育課題に取り組み、提案、発信ができる。
人間性を高める	建学の精神「和」を理解し、「礼節」をもって行動することができると共に、自律心が身についている。	「礼節」への理解を深めると共に、自然と人間との関わりについての理解を深めることができる。		
1年次春学期	1年次春学期 保育職への意欲を向上させる 勉学への姿勢を確立する	1年次秋学期 保育実践を理解する	2年次春学期 基礎的な保育実践力を修得する	2年次秋学期 保育者として必要な 資質・能力を修得する

次代をつくる“保育のエキスパート”

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 保育科第二部 実習をコアにしたキャリア形成カリキュラムマップ

保育者への扉を開こう
子どもの世界にふみこもう
自分の力をためてみよう
感性豊かな保育者に



	社会貢献の理論と実践	地域貢献活動の実践	グループ研究	グループ研究
保育現場で学ぶ				
地域で学ぶ				
保育を創造する	幼児と人間関係 幼児と健康 幼児と言葉 保育内容・健康 保育内容・言葉 乳児保育Ⅱ 社会的養護Ⅱ	幼児と人間関係 幼児と健康 幼児と言葉 保育内容・健康 保育内容・言葉 乳児保育Ⅱ 社会的養護Ⅱ	保育内容・健康 保育内容・言葉 乳児保育Ⅱ 社会的養護Ⅱ	保育・教職実践習 (必修) 子どもの食と栄養 子育て支援
表現を創造する	幼児と音楽表現A 幼児と音楽表現B 基礎専門体育Ⅰ 児童文化Ⅰ	幼児と音楽表現A 幼児と音楽表現A 幼児と身体表現 保育内容・音楽表現Ⅰ 児童文化Ⅲ～2	幼児と音楽表現A 保育表現創造演習Ⅰ	幼児と音楽表現A 保育表現創造演習Ⅱ
子どもを理解する	発達心理学 教職入門 保育原理Ⅰ	教育相談 子ども家庭支援の心理学 子ども家庭福祉 幼児理解・保育相談 保育・教育課程論	乳児保育Ⅰ 社会的養護Ⅰ	子ども家庭支援論 社会福祉 教育方法論 教育制度論
学びの基礎を身につける	情報活用実習 (基礎) SEITOKUAcademiLibraryⅠ キャリア総合演習	情報活用実習 (教職) SEITOKUAcademiLibraryⅡ		
人間性を高める	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 英語Ⅰ～1	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅰ 英語Ⅰ～2 〔選択〕英語Ⅱ～1 〔選択〕英語Ⅱ～2	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 日本国憲法

1 年次春学期	1 年次秋学期	2 年次春学期	2 年次秋学期	3 年次春学期	3 年次秋学期
保育職への意欲を向上させる 物字への姿勢を確立する	保育実践を理解する	基礎的な保育実践力を修得する	保育者として必要な資質・能力を修得する		

次代をつくる“保育のエキスパート”

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 保育科第二部 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

保育者への扉を開こう

子どもの世界に
ふみこもう

自分の力を
ためしてよう

感性豊かな保育者に

学習成果	学位授与の方針に掲げる学習成果
保育現場で学ぶ	子どものための施設の機能と役割、保育者の職務や役割を深く理解することができる。保育実践力が身についている。
地域で学ぶ	グループ単位で協力しながら主体的に研究を進めるために必要な、探求心と課題解決能力が身についている。
保育を創造する	保育を創造するために必要な、保育を構想・展開・省察する保育実践力が身についている。
表現を創造する	子どもが表現を創造する過程を援助できる力が身につくことができる。
子どもを理解する	子どもの成長・発達について、理論と実践を結びつけて理解し、保育実践に活かすことができる。
学びの基礎を身につける	自己分析力を身につけ、自身のキャリアについて考えることができる。
人間性を高める	「礼節」への理解を深めると共に、自然と人間との関わりについての理解を深めることができる。

学位授与の方針に掲げる学習成果

豊かな人間性を有し、他者を尊重し、良好な人間関係を構築することができる。

子どもの成長・発達を理解し、一人ひとりの子どもに適切な援助をすることができる。

表現技能・創造する力を修得し、子どもの表現を創造する過程を援助することができる。

指導計画を立案し、保育実践を創意工夫し、改善に取り組み、保育の質を高めることができる。

他者と協働して地域の保育課題に取り組み、提案、発信ができる。

1年次春学期

保育職への意欲を向上させる
勉学への姿勢を確立する

1年次秋学期

保育実践を理解する

2年次春学期

基礎的な保育実践力を修得する

3年次春学期

保育者として必要な
資質・能力を修得する

3年次秋学期

准学校心理士(保育科第一部、保育科第二部)

別表7

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	心理学校	履修年次				備考
					1		2		
					春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	○	○				第二部は2年秋
<input type="checkbox"/>	特別な支援を要する子どもの理解と支援		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	幼児理解・保育相談		2	○			○		

[注] 1. 准学校心理士を取得する者は、上記の科目が必修となります。

2. 発達心理学は幼稚園教諭二種免許と保育士資格の卒業必修科目です。

特別支援の基礎、幼児理解・保育相談は保育士資格の卒業必修科目です。

図書館司書(保育科第一部)

別表8

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	司書	履修年次				備考
					1		2		
					春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	生涯学習概論		2	○	○				
<input type="checkbox"/>	図書館概論		2	○	○				
<input type="checkbox"/>	図書館情報技術論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	図書館制度・経営論		2	○			○		
<input type="checkbox"/>	図書館サービス概論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	情報サービス論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	児童サービス論		2	○			○		
<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅰ	演	1	○			○		
<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅱ	演	1	○				○	
<input type="checkbox"/>	図書館情報資源概論		2	○	○				
<input type="checkbox"/>	情報資源組織論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅰ	演	1	○			○		
<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅱ	演	1	○				○	
<input type="checkbox"/>	図書館基礎特論		2	△					
<input type="checkbox"/>	図書館サービス特論		2	△					
<input type="checkbox"/>	図書館情報資源特論		2	△		○			
<input type="checkbox"/>	図書・図書館史		2	△				○	
<input type="checkbox"/>	図書館施設論		2	△					
<input type="checkbox"/>	図書館総合演習		1	△					

[注] 1. 図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印を付された科目全部と、△印を付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。

2. 上記の科目の修得単位は、学則に定める卒業所要単位数に含まれません。

秘書士(保育科第一部)

別表9

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	秘書士	履修年次				備考
					1		2		
					春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○				
<input type="checkbox"/>	社会貢献の理論と実践	演	1	○			○		
<input type="checkbox"/>	地域貢献活動の実践	演	1	○				○	
<input type="checkbox"/>	データ整理の方法	演	1	○	○				
<input type="checkbox"/>	暮らしと経済		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	簿記 I		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーション I	演	1	○	○				
<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーション II	演	1	○		○			
<input type="checkbox"/>	秘書学概論 I		2	○	○				
<input type="checkbox"/>	秘書学概論 II		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	秘書実務演習 I	演	1	○			○		
<input type="checkbox"/>	秘書実務演習 II	演	1	○				○	

- [注] 1.秘書士を取得する者は、上記の科目が必修となります。
 2.情報活用演習(基礎)、社会貢献の理論と実践、地域貢献活動の実践は卒業必修科目です。
 それ以外の科目の修得単位は、学則に定める卒業所要単位数に含まれません。

総合文化学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

聖徳大学短期大学部総合文化学科は、「専門的知識と技能とを身につけ、広い視野を持って社会に自立できる女性の育成」を教育理念とし、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦し、時代に求められる自立した女性を輩出してきました。

政治・経済・文化のグローバル化、社会の価値観の多様化が急速に進む現代社会は、多くの多面的・複合的な問題に直面しています。そうした中で求められているのは、自ら課題を設定して解決策を示し、多様な他者と協働して新たな価値を創出できる人材を育成することです。

総合文化学科は、フードマネジメント、図書館司書・IT、国際観光・ホテル、ファッション・造形デザインの四つのコースを設け、自己の生き方を考える力や課題解決力をもち、地域社会を漸進的に変えていく実践的な力を有する女性を育成し、調和ある社会の発展に貢献していきます。

【教育目標】

総合文化学科は、教育理念に基づいて以下の四つの教育目標を掲げます。

1. 他者を思いやる協調性と豊かな感性、確かな礼節を身につけた“和”の心を育成する。
2. 幅広い教養に基づく多様な視点から現代社会における課題に自らアプローチし、解決する方策を論理的に模索できる思考力と解決力を育成する。
3. 自己の生き方を主体的にデザインすることができる自立した女性を育成する。
4. 幅広い専門性と学際性を併せもつ体系的な知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて現代社会及び地域社会の課題を解決へと導く高度な実践力を育成する。

【学習成果】

総合文化学科は、教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

1. 思いやりと礼節心をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
2. 幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。
3. 自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。
4. 専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。

以上の学習成果を達成するために編成された各専門分野別の教育課程において所定の単位を修得した人に卒業を認定し、短期大学士（フード・健康教育、教養・情報、生活デザイン、ファッション・デザイン）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

総合文化学科では、学習成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら実践力を育む学科共通科目、高度な専門性を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

学科共通科目と専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学科共通科目

（1）キャリアデザイン力やビジネス社会で活躍できる力を身につける科目群

「キャリアスタディⅠ・Ⅱ」「特別講座Ⅰ・Ⅱ」を通じて日本語活用能力及び数的処理能力を培い、就業への基礎学力を身に付けます。また、簿記等の専門基礎科目（ビジネス）により生涯にわたってビジネス社会等で活躍するための基礎的能力を育成します。

（2）学際的な知識・技能や ICT の活用能力を身につける科目群

他コースの専門教育科目、複数コース間の共通科目の履修を通じて、専門分野を越えた学際的な知識・技能を育成します。また、専門基礎科目（情報技術）を通じて ICT を活用して問題を発見し解決できる能力を育成します。

（3）他者と協働しながら地域社会の抱える問題の発見・解決に挑戦する科目群

「社会貢献の理論と実践」「地域貢献活動の実践」の科目で、地域社会へ向けた問題解決のための企画・提案や情報発信をグループで協力して行うことにより、企画・提案力、情報発信力、コミュニケーション力、他者と協働する力などを育成します。また、これらの力を身につけることで、社会で自立するためのコンピテンシー（仕事力）を育成します。

2. 専門教育科目

（4）専門分野における知識・技能を身につける科目群

各コースの専門教育科目（必修・選択）を通じて、専門分野における知識・技能を体系的に学習し、理論と実践を結びつけて課題解決を主導できる力を育成します。各コースにおける専門教育科目編成の方針は次のとおりです。

<フードマネジメントコース>学位：短期大学士（フード・健康教育）

食品や食品衛生に関する知識、基礎調理技術、健康と栄養、世界の食文化、製菓・製パンに関する知識を学んだ上で、世界文化遺産「和食」や各種の調理技術、フランス菓子製作に関する科目を体系的に配置します。食を総合的にプロデュースでき、食品・製菓業界で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<図書館司書・ITコース>学位：短期大学士（教養・情報）

日本語による表現技法、日本の文化・文学に関する科目をベースとして配置し、図書館司書及びITのいずれにも有用な日本語の表現技能と教養を育成します。また、図書館司書資格取得に必要な科目を体系的に配置し、図書に関する情報を分析・処理する知識と技能

を身につけ、的確な情報発信を行う力のある人材を育成する教育課程を編成します。

さらに、ICTに関する知識や技能、情報の構成、大量のデータから情報を抽出する技能などを学ぶ科目を体系的に配置し、企業社会で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<国際観光・ホテルコース>学位：短期大学士（生活デザイン）

観光・ホテルに関する知識・技能、旅行業務について理解を図る科目、英語でコミュニケーションの取れる会話科目を体系的に配置し、国際的に活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<ファッション・造形デザインコース>学位：短期大学士（ファッション・デザイン）

ファッションの造形やコーディネート、アパレル設計、ファッションビジネス等に関する知識と技能を身につけるための科目を体系的に配置し、ファッションデザイン業界で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

また、デザインに関する基礎的な表現技術、コンピューター上での表現技法などを学ぶ科目を体系的に配置し、平面・立体のデザインや動画を制作する能力を育成する教育課程を編成します。

【教育課程実施の方針】

総合文化学科では、学習成果を効果的に達成するために、「授業計画（シラバス）」及び「教育課程」に以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習課程を展開しています。

1. 授業方法として、学生自らが作品制作・発表などを行う能動的学習手法（アクティブ・ラーニング）を幅広く導入し、深い学びを促進しています。
2. 地域貢献に関わる授業では、グループワーク、PBL（課題解決型授業）、サービスラーニングを実施するなど、多様な授業手法を導入し、学習効果をより高めています。
3. 一年次秋学期からでもコースの変更ができる柔軟な履修体制を展開しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

総合文化学科では、ディプロマ・ポリシーの【学習成果】で示した目的を理解し、達成できる資質をもった人として、次のような入学者を求めています。

1. 二年間の学習を継続するための基礎知識をそなえ、学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
2. 文章を読解し表現する日本語運用力、数的処理を含む論理的思考力が認められる人。
3. ボランティア活動、サークル活動などの経験を通じて地域貢献への関心をもつ人。
4. クラブ活動等に主体的に参加し、他者と協働するコミュニケーション能力を備えた人。

総合文化学科ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意し入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要なコミュニケーション力、基礎的な学力、論理的な思考力、協調性、主体性などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に、かつ多面的に評価します。

短期大学部 総合文化学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る手法と測定時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

DP自己評価
(1 思いやり、礼節心)

毎学期末

学外研修ルーブリック

毎学外
研修後

「人間性を高める科目群」GPA

毎学期末

1. 思いやりと礼節心をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。

DP自己評価
(2-1 幅広い教養・考える力)

毎学期末

「学びの基礎を身に付ける科目群」GPA

毎学期末

2-1. 幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えることができる。

DP自己評価 (2-2 英語力・プレゼンテーション力)

毎学期末

英語系科目、プレゼンテーション系科目のGPA

毎学期末

2-2. 実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。

DP自己評価
(3 キャリアをデザインする力)

毎学期末

「キャリア実践力を形成する科目群」GPA

毎学期末

3. 自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。

DP自己評価 (4 専門分野等の知識・技能、ICTの活用、実践力・課題解決力)

毎学期末

地域貢献活動ルーブリック
気づきシート、振り返りシート

1 年末

卒業論文・卒業研究ルーブリック

2 年末

専門科目、社会貢献科目、情報・ビジネス系科目のGPA

毎学期末

専門分野の到達度評価

毎学期末

インターンシップ評価表

インターンシップ
研修後

4. 専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。

総合文化学科 履修要項

- 総合文化学科の卒業必要単位数は、全学共通科目(A類)17単位以上 + 専門教育科目(B類)47単位以上 = 計64単位以上です。
- 全学共通科目は別表1～3の通り、「聖徳教育」、「教養科目」、「外国語科目」、「健康教育科目」及び「情報活用科目」の5つの分野から構成されています。学生は卒業の要件として、全学共通科目を、次表の通り17単位以上修得しなければなりません。実際は、各コースとも別表10の全学共通科目(A類)を履修することになります。

全学共通科目(A類)				
聖徳教育	教養科目と外国語科目	健康教育科目	情報活用科目	計
6	8	2	1	17

(1)教養科目と外国語科目8単位には、外国語4単位を含んでいること。

教養科目はP.12に記載の通り、「社会貢献の理論と実践」(1単位)及び「地域貢献活動の実践」(1単位)は必修です。加えて、A類、B類、C類からいずれか1科目を選択し2単位以上を履修すること。

(2)健康教育科目は、「スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ」が必修です。

- 専門教育科目は、別表11～14の通り4つのコースがあり、1つのコースにはコース別必修科目19単位と、学科共通科目10単位★が配当されています。

★学科共通科目10単位には、必修科目として「キャリアスタディⅠ・Ⅱ」4単位と「キャリア実践演習」の1単位、専門基礎科目(情報技術)計1単位(「webの表現技法」1単位)が配当されています。

また、専門基礎科目(ビジネス)(「秘書学概論Ⅰ」2単位、「暮らしと経済」2単位、「簿記Ⅰ・Ⅱ」各2単位)、および「環境論」2単位から、いずれか2科目(4単位)を選択して履修すること。

従って、専門教育科目は次表の通り47単位以上修得することになります。

(なお、上記2.の全学共通科目を、専門教育科目に算入することはできません。)

専門教育科目(B類)						
学科共通科目(10単位以上)				コース別科目(37単位以上)		計
キャリアスタディⅠ・Ⅱ	キャリア実践演習	専門基礎科目(情報技術)	専門基礎科目(ビジネス)/環境	コース別必修科目	選択科目	
4	1	1	4	19※	18	47

※図書館司書課程を履修する者はコース別必修科目のうち36単位を必修、選択科目は1単位以上とする。

(1)選択科目については、全コースの科目及び資格の科目群を選択の対象とすることが可能です。

また、本学の4年制大学(心理・福祉学部、文学部)の指定された科目を4単位まで充当することもできます。

4. 資格取得について

総合文化学科では、所定の科目を履修して単位を修得することにより、卒業と同時に下記の資格が取得できます。

フードスペシャリスト(受験資格)、図書館司書、秘書士、情報処理士、観光実務士、ビジネス実務士

履修方法及び課程履修登録については、各コースの専門教育科目欄の記載内容、65ページ以降の別表15～18及び70ページの別表20を確認してください。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	情報処理士	観光実務士	秘書士	ビジネス実務士	履修年次				備考			
										1		2					
										春	秋	春	秋				
聖徳教育	<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○					○							
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ		1	○					○	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ		1	○					○		○					
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅠ)	演	1	○					○							
	<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅡ)	演	1	○					○							
教養	A類	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅰ)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	2						○	○	○	○			
	B類	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2	※					○	○	○	教養科目は卒業必修欄に※が付された科目のうち1科目(2単位)以上を履修すること			
		<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2	※					○	○	○				
	C類	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2	※					○	○	○				
		<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2	※					○	○	○				
	D類	<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2							●	●				
		<input type="checkbox"/>	社会貢献の理論と実践	演	1	○	○	○	○	○							
		<input type="checkbox"/>	地域貢献活動の実践	演	1	○	○	○	○	○							
	Business Field Linkageプログラム	共通	<input type="checkbox"/>	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1					●	●	●		●	いずれかの学期で履修	
			<input type="checkbox"/>	キャリア教育関連科目※												※13ページ下段(副専攻について)を参照	
		価値増幅型マネジメント副専攻	<input type="checkbox"/>	現代社会におけるビジネスリテラシー		2						●	●		●	●	いずれかの学期で履修
			<input type="checkbox"/>	法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2						●			●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>			就活にも役立つメディアリテラシー		2						●	●				いずれかの学期で履修	
<input type="checkbox"/>			戦略的ビジネスマネジメント		2							○					
グローバル人材育成副専攻		<input type="checkbox"/>	国際社会問題を考える		2						●		●			いずれかの学期で履修	
		<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーション		2							○					
		<input type="checkbox"/>	Practical English CommunicationⅠ		2						○						
		<input type="checkbox"/>	Practical English CommunicationⅡ		2								○				
ビジネス再生・創生副専攻		<input type="checkbox"/>	新時代のリーダーシップデザイン		2						●		●		いずれかの学期で履修		
		<input type="checkbox"/>	戦略的ビジネスプランニング		2							○					
		<input type="checkbox"/>	顧客価値を創出するマーケティング		2						●		●		いずれかの学期で履修		
ビジネス・データサイエンス副専攻		<input type="checkbox"/>	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2						●		●		いずれかの学期で履修		
		<input type="checkbox"/>	ビジネス・データサイエンスⅠ		2						●		●		いずれかの学期で履修		
	<input type="checkbox"/>	ビジネス・データサイエンスⅡ		2						●		●		いずれかの学期で履修			
	<input type="checkbox"/>	ビジネス・データサイエンスⅢ		2								○					
地域活性化・価値創造副専攻	<input type="checkbox"/>	地域社会の価値を創造する実践論		2						○							
	<input type="checkbox"/>	行政の役割を体験するインターンシップ		2								○					
	<input type="checkbox"/>	行政の理解と試験対策		2													
外国語	<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ～1	演	1	○					○							
	<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ～2	演	1	○						○						
	<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ～1	演	1	○							○					
	<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ～2	演	1	○								○				
健康教育	<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1	○					○							
	<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1	○						○						
情報活用	<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○				○	○	○			「文書作成技法」を読み替え			
計				42													

(備考)授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

資格については、別表15～18と70ページを確認すること。

フードマネジメントコース 専門科目(B類)

専門教育科目(B類) 学科共通科目

別表11-1

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	フードスペシャリスト	履修年次				備考	
							1		2			
							春	秋	春	秋		
専門基礎 (キャリア教育)	<input type="checkbox"/>	キャリアスタディⅠ	演	2	○		○	○				SEITOKU Academic LiteracyⅢ
	<input type="checkbox"/>	キャリアスタディⅡ	演	2	○				○	○		
	<input type="checkbox"/>	キャリア実践演習	演	1	○		○					
	<input type="checkbox"/>	特別講座Ⅰ	演	1				○				
	<input type="checkbox"/>	特別講座Ⅱ	演	2						○	○	
専門基礎 科目 (情報技術)	<input type="checkbox"/>	データ整理の方法	演	1			○					情報活用演習(基礎)に充当
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションの技法	演	1			○					
	<input type="checkbox"/>	文書作成技法	演	(1)	○		○					
	<input type="checkbox"/>	webの表現技法	演	1	○		○					
	<input type="checkbox"/>	情報システムの考え方	演	2			○					
専門基礎 科目 (ビジネス)	<input type="checkbox"/>	暮らしと経済		2	※						○	卒業必修欄に※が付された科目から 2科目4単位以上履修すること
	<input type="checkbox"/>	秘書学概論Ⅰ		2	※		○					
	<input type="checkbox"/>	簿記Ⅰ		2	※			○				
	<input type="checkbox"/>	簿記Ⅱ		2	※				○			
環境	<input type="checkbox"/>	環境論		2	※					●	●	環境論は春学期または秋学期に開講
		計		23								

専門教育科目(B類) 必修科目

別表11-2

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	フードスペシャリスト	履修年次				備考	
							1		2			
							春	秋	春	秋		
(フード必修8単位)	<input type="checkbox"/>	基礎調理実習	実	1	※	○						※フード科目群選択者のみ必修
	<input type="checkbox"/>	調理学		2	※	○						※フード科目群選択者のみ必修
	<input type="checkbox"/>	食品学		2	○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	食品衛生学		2	○	○		○				
	<input type="checkbox"/>	食品流通論		2	○	○					○	
	<input type="checkbox"/>	食文化概論		2	○	○				○		
	<input type="checkbox"/>	官能評価論, 鑑別論	演	2	○	○						○
	<input type="checkbox"/>	健康と栄養		2	○	○	○					
(必修11単位)	<input type="checkbox"/>	製菓実習入門Ⅰ	実	1	○		○					
	<input type="checkbox"/>	製菓実習入門Ⅱ	実	1	○		○					
	<input type="checkbox"/>	製菓実習基礎Ⅰ	実	1	○			○				
	<input type="checkbox"/>	製菓実習基礎Ⅱ	実	1	○			○				
	<input type="checkbox"/>	製菓実習基礎Ⅲ	実	1	○				○			
	<input type="checkbox"/>	製菓実習基礎Ⅳ	実	1	○				○			
	<input type="checkbox"/>	デザート実習入門Ⅰ	実	1					○			
	<input type="checkbox"/>	デザート実習入門Ⅱ	実	1					○			
	<input type="checkbox"/>	製パン実習Ⅰ	実	1	○				○			
	<input type="checkbox"/>	製パン実習Ⅱ	実	1	○				○			
	<input type="checkbox"/>	製菓理論の実践Ⅰ	実	1							○	
	<input type="checkbox"/>	製菓理論の実践Ⅱ	実	1							○	
	<input type="checkbox"/>	お菓子のアートⅠ	実	1					○			
	<input type="checkbox"/>	お菓子のアートⅡ	実	1					○			
(必修8単位)	<input type="checkbox"/>	基礎原料学		1	○						○	
	<input type="checkbox"/>	卒業制作	演	2	○				○	○		
	<input type="checkbox"/>	調理実習Ⅰ	実	1	○	○		○				
	<input type="checkbox"/>	調理実習Ⅱ	実	1	○						○	
	<input type="checkbox"/>	調理実習Ⅲ	実	1	○					○		
	<input type="checkbox"/>	調理実習Ⅳ	実	1	○					○		
	<input type="checkbox"/>	食品加工実習	実	1		○					○	
	<input type="checkbox"/>	献立の組み立て方		2	○						○	
	<input type="checkbox"/>	フードスペシャリスト論		2		○	○					
	<input type="checkbox"/>	フードコーディネーター論		2		○					○	
<input type="checkbox"/>	調味料概論		2			○						
<input type="checkbox"/>	卒業研究		2	○						○	○	
		計		47								

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期を示す。

【資格】フードスペシャリスト取得希望者は、フードスペシャリスト欄の○印の科目をすべて履修すること。

区分	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	履修年次		備考	
					1 春	2 秋		
図書館司書・ITコース共通科目群	<input type="checkbox"/> 情報処理論		2		○			
	<input type="checkbox"/> プログラミング基礎		2		○			
	<input type="checkbox"/> 図書館情報技術論		2			○		
	<input type="checkbox"/> 情報資源組織論		2		○			
	<input type="checkbox"/> 情報資源組織演習 I	演	1				○	
	図書館司書科目群	<input type="checkbox"/> 生涯学習概論		2		○		
		<input type="checkbox"/> 図書館概論		2			○	
		<input type="checkbox"/> 図書館制度・経営論		2			○	
		<input type="checkbox"/> 図書・図書館史		2				○
		<input type="checkbox"/> 図書館サービス概論		2		○		
		<input type="checkbox"/> 情報資源組織演習 II	演	1				○
		<input type="checkbox"/> 図書館情報資源概論		2		○		
		<input type="checkbox"/> 図書館基礎特論		2				○
		<input type="checkbox"/> 情報サービス論		2			○	
		<input type="checkbox"/> 児童サービス論		2				○
		<input type="checkbox"/> 情報サービス演習 I	演	1				○
		<input type="checkbox"/> 情報サービス演習 II	演	1				○
		<input type="checkbox"/> 日本の文学		2		○		
		<input type="checkbox"/> 日本の文化		2				○
		<input type="checkbox"/> 日本語表現基礎 I		2		○		
	<input type="checkbox"/> 日本語表現基礎 II		2				○	
	<input type="checkbox"/> メディアリテラシー		2				○	
	IT科目群	<input type="checkbox"/> 日本語プレゼンテーション I	演	1		○		
		<input type="checkbox"/> 日本語プレゼンテーション II	演	1			○	
		<input type="checkbox"/> CG(ペイント系)演習	演	1			○	
<input type="checkbox"/> CG(イラスト・ドロー系)演習		演	1				○	
<input type="checkbox"/> CG(動画)演習		演	1				○	
<input type="checkbox"/> 編集技法(DTP) I		演	1				○	
<input type="checkbox"/> 編集技法(DTP) II		演	1				○	
<input type="checkbox"/> データ分析の方法		演	1			○		
<input type="checkbox"/> データベース演習 I		演	1				○	
<input type="checkbox"/> データベース演習 II		演	1				○	
<input type="checkbox"/> プログラムの書き方 I		演	1			○		
<input type="checkbox"/> プログラムの書き方 II		演	1				○	
<input type="checkbox"/> 情報コミュニケーション技術			2				○	
観光・ホテル・ブライダル科目群		<input type="checkbox"/> 観光学概論		2		○		
		<input type="checkbox"/> 観光英会話 I	演	1		○		
	<input type="checkbox"/> 観光英会話 II	演	1			○		
	<input type="checkbox"/> 観光実務(国内)		2			○		
	<input type="checkbox"/> 観光地理 I(国内)		2			○		
	<input type="checkbox"/> 観光地理 II(海外)		2				○	
	<input type="checkbox"/> 海外事情		2				○	
	<input type="checkbox"/> 観光関連法規・約款		2			○		
	<input type="checkbox"/> 旅行運賃実務	演	1				○	
	<input type="checkbox"/> ツアープランニング演習	演	1				○	
	<input type="checkbox"/> ホテルサービス概論		2		○			
	<input type="checkbox"/> ゲストサービス演習	演	1			○		
	<input type="checkbox"/> ブライダル産業論		2		○			
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ産業論		2				○	
	<input type="checkbox"/> ブライダルコーディネート演習	演	1			○		
	<input type="checkbox"/> 料飲サービス実習	実	1				○	
	<input type="checkbox"/> ユニバーサルサービス演習	演	1				○	
	<input type="checkbox"/> ホテルの英語	演	1				○	
	<input type="checkbox"/> 接客外国語入門	演	1				○	
	<input type="checkbox"/> 異文化間コミュニケーション	演	2				○	
	<input type="checkbox"/> 日本語プレゼンテーション I	演	1		○			
	<input type="checkbox"/> 日本語プレゼンテーション II	演	1			○		
	<input type="checkbox"/> ホテル実習	実	1				●	
	<input type="checkbox"/> 地域インターンシップ	演	1		●	●		
	ファッション・造形デザイン科目群	<input type="checkbox"/> ファッションコーディネート論		2				○
<input type="checkbox"/> ファッションデザイン画 I		演	1		○			
<input type="checkbox"/> ファッションデザイン画 II		演	1			○		
<input type="checkbox"/> ファッション造形実習 I～1		実	1		◎			
<input type="checkbox"/> ファッション造形実習 I～2		実	1			◎		
<input type="checkbox"/> ファッション造形実習 II～1		実	1				◎	
<input type="checkbox"/> ファッション造形実習 II～2		実	1				◎	
<input type="checkbox"/> 和服造形・着付け実習 I		実	1		◎			
<input type="checkbox"/> 和服造形・着付け実習 II		実	1			◎		
<input type="checkbox"/> ファッションビジネス論			2			◎		
<input type="checkbox"/> ファッションビジネス実務演習		演	1				◎	
<input type="checkbox"/> ファッション商品論			2				◎	
<input type="checkbox"/> アパレル企画論・演習		演	1			◎		
<input type="checkbox"/> パターンメイキング		演	1				○	
<input type="checkbox"/> アパレル設計・生産実習		実	1		◎			
<input type="checkbox"/> 衣生活論			2				○	
<input type="checkbox"/> クラフト		演	1			○		
<input type="checkbox"/> テキスタイル実習		実	1				○	
<input type="checkbox"/> 染色加工学実験		実	1			○		
<input type="checkbox"/> 被服整理学実験		実	1				○	
<input type="checkbox"/> 色彩学			2		○			
<input type="checkbox"/> デザイン論(副題 色彩とデザイン)			2		○			
<input type="checkbox"/> インテリア計画			2			○		
<input type="checkbox"/> CG(ペイント系)演習		演	1			○		
<input type="checkbox"/> CG(イラスト・ドロー系)演習		演	1				○	
<input type="checkbox"/> CG(動画)演習	演	1				○		
<input type="checkbox"/> CG(3D)演習	演	1				○		
計		122						

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

総合文化学科フードマネジメントコース 製菓科目群 履修モデル

	1年		2年		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
全学共通科目	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅠ SEITOKU Academic LiteracyⅡ 英語Ⅰ～1 スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習(基礎) 社会貢献の理論と実践	聖徳教育Ⅰ 英語Ⅰ～2 SEITOKU Academic LiteracyⅡ スポーツと健康Ⅱ 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 地域貢献活動の実践	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 英語Ⅱ～1	聖徳教育Ⅰ 英語Ⅱ～2	
科目数	8	7	3	2	20
学科共通科目	キャリアスタディⅠ キャリア実践演習 データ整理の方法 webの表現技法 秘書学概論Ⅰ	キャリアスタディⅠ 特別講座Ⅰ 簿記Ⅰ	キャリアスタディⅡ 特別講座Ⅱ 環境論	キャリアスタディⅡ 特別講座Ⅱ	
科目数	5	3	3	2	13
(共通卒業必修科目群)	製菓実習入門Ⅰ 製菓実習入門Ⅱ 食品学 健康と栄養	食品衛生学 製菓実習基礎Ⅰ 製菓実習基礎Ⅱ 基礎原科学	卒業研究 製パン実習Ⅰ 製パン実習Ⅱ 製菓実習基礎Ⅲ 製菓実習基礎Ⅳ	卒業研究 官能評価論, 鑑別論	
科目数	4	4	5	2	15
選択科目※	調理学 調味料演習 基礎調理実習 フードスペシャリスト論	お菓子のアートⅠ お菓子のアートⅡ 調理実習Ⅰ	食文化概論 デザート実習入門Ⅰ デザート実習入門Ⅱ 調理実習Ⅲ	食品流通論 製菓理論の実践Ⅰ 製菓理論の実践Ⅱ 調理実習Ⅱ 調理実習Ⅳ 食品加工実習 フードコーディネータ論	
科目数	4	3	4	7	18
科目数計	21	17	15	13	66

※全コースの科目及び資格の科目群から18単位以上を履修

総合文化学科フードマネジメントコース フード科目群 履修モデル(フードスペシャリスト受験資格)

	1年		2年		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
全学共通科目	聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ～1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) 社会貢献の理論と実践	聖徳教育 I 英語 I ～2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 地域貢献活動の実践	聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ～1	聖徳教育 I 英語 II ～2	
科目数	8	7	3	2	20
学科共通科目	キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 webの表現技法 秘書学概論 I	キャリアスタディ I 特別講座 I 簿記 I	キャリアスタディ II 特別講座 II 簿記 II 環境論	キャリアスタディ II 特別講座 II 暮らしと経済	
科目数	5	3	4	3	15
(共通、卒業必修科目群)	調理学 食品学 健康と栄養 基礎調理実習	食品衛生学 調理実習 I	卒業研究 調理実習 III	卒業研究 官能評価論, 鑑別論 献立の組み立て方 調理実習 II 調理実習 IV	
科目数	4	2	2	4	12
選択科目※	調味料概論 フードスペシャリスト論	お菓子のアート I お菓子のアート II	食文化概論 デザート実習入門 I デザート実習入門 II	食品流通論 食品加工実習 フードコーディネーター論 製菓理論の実践 I 製菓理論の実践 II	
科目数	2	2	3	5	12
科目数計	19	14	12	14	59

※全コースの科目及び資格の科目群から18単位以上を履修

図書館司書・ITコース 専門科目(B類)

専門教育科目(B類) 学科共通科目

別表12-1

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	図書館司書	情報処理士	履修年次				備考
								1		2		
								春	秋	春	秋	
専門基礎 (キャリア教育)	<input type="checkbox"/>	キャリアスタディⅠ	演	2	○		○	○			SEITOKU Academic LiteracyⅢ	
	<input type="checkbox"/>	キャリアスタディⅡ	演	2	○		○	○				
	<input type="checkbox"/>	キャリア実践演習	演	1	○		○					
	<input type="checkbox"/>	特別講座Ⅰ	演	1				○				
専門基礎 科目 (情報技術)	<input type="checkbox"/>	特別講座Ⅱ		2					○	○	情報活用演習(基礎)に充当	
	<input type="checkbox"/>	データ整理の方法	演	1			○	○				
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションの技法	演	1				○				
	<input type="checkbox"/>	文書作成技法	演	(1)	○		○					
	<input type="checkbox"/>	webの表現技法	演	1	○		○					
専門基礎 科目 (ビジネス)	<input type="checkbox"/>	情報システムの考え方		2			○	○			卒業必修欄に※が付された科目から2科目4単位以上履修すること (情報処理士取得希望者は「暮らしと経済」または「簿記Ⅰ」のどちらかを履修すること)	
	<input type="checkbox"/>	暮らしと経済		2	※					○		
	<input type="checkbox"/>	秘書学概論Ⅰ		2	※		○					
	<input type="checkbox"/>	簿記Ⅰ		2	※			○				
環境	<input type="checkbox"/>	簿記Ⅱ		2	※					○	環境論は春学期または秋学期に開講	
	<input type="checkbox"/>	環境論		2	※				●	●		
		計		23								

専門教育科目(B類) 必修科目

別表12-2

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	図書館司書	情報処理士	履修年次				備考
								1		2		
								春	秋	春	秋	
(1) 共通 単位)	<input type="checkbox"/>	卒業研究	演	2	○				○	○		
	<input type="checkbox"/>	情報処理論		2	○		○					
	<input type="checkbox"/>	プログラミング基礎		2	○		○					
	<input type="checkbox"/>	図書館情報技術論		2	○	○		○				
	<input type="checkbox"/>	情報資源組織論		2	○	○		○				
	<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅰ	演	1	○	○			○			
図書館 司書科目 目群 (必修8 単位)	<input type="checkbox"/>	生涯学習概論		2	※	○		○			2科目4単位以上を卒業必修とし、図書館 司書課程を履修する者は全科目21単位を 必修とする。	
	<input type="checkbox"/>	図書館概論		2	※	○		○				
	<input type="checkbox"/>	図書館制度・経営論		2	※	○		○				
	<input type="checkbox"/>	図書・図書館史		2	※	○				○		
	<input type="checkbox"/>	図書館サービス概論		2	※	○		○				
	<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅱ	演	1	※	○				○		
	<input type="checkbox"/>	図書館情報資源概論		2	※	○		○				
	<input type="checkbox"/>	図書館基礎特論		2	※	○				○		
	<input type="checkbox"/>	情報サービス論		2	※	○		○				
	<input type="checkbox"/>	児童サービス論		2	※	○			○			
	<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅰ	演	1	※	○				○		
	<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅱ	演	1	※	○				○		
	<input type="checkbox"/>	日本の文学		2	※			○				
I T 科目群 (必修8 単位)	<input type="checkbox"/>	日本の文化		2	※				○		2科目4単位以上を卒業必修とする。	
	<input type="checkbox"/>	日本語表現基礎Ⅰ		2	※		○					
	<input type="checkbox"/>	日本語表現基礎Ⅱ		2	※			○				
	<input type="checkbox"/>	メディアリテラシー		2	※					○		
	<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーションⅠ	演	1	○			○				
I T 科目群 (必修8 単位)	<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーションⅡ	演	1				○				
	<input type="checkbox"/>	CG(ペイント系)演習	演	1	○			○				
	<input type="checkbox"/>	CG(イラスト・ドロー系)演習	演	1	○				○			
	<input type="checkbox"/>	編集技法(DTP)Ⅰ	演	1	○				○			
	<input type="checkbox"/>	編集技法(DTP)Ⅱ	演	1	○					○		
	<input type="checkbox"/>	CG(動画)演習	演	1	○					○		
	<input type="checkbox"/>	データ分析の方法	演	1	○		○					
	<input type="checkbox"/>	データベース演習Ⅰ	演	1			○		○			
	<input type="checkbox"/>	データベース演習Ⅱ	演	1			○			○		
	<input type="checkbox"/>	プログラムの書き方Ⅰ	演	1	○			○				
	<input type="checkbox"/>	プログラムの書き方Ⅱ	演	1	○				○			
<input type="checkbox"/>	情報コミュニケーション技術		2			○		○				
		計		56								

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期を示す。

【資格】図書館司書取得希望者は、図書館司書欄の○印の科目をすべて履修すること。

【資格】情報処理士取得希望者は、情報処理士欄の○印の科目をすべてと※印の「簿記Ⅰ」または「暮らしと経済」のいずれかを履修すること。

また、別表10の全学共通科目(A類)より「社会貢献の理論と実践」と「地域貢献活動の実践」をあわせて履修すること。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	履修年次				備考	
						1		2			
						春	秋	春	秋		
	<input type="checkbox"/>	基礎調理実習	実	1		○				フードマネジメントコース共通科目群	
	<input type="checkbox"/>	調理学		2		○					
	<input type="checkbox"/>	食品学		2		○					
	<input type="checkbox"/>	食品衛生学		2		○					
	<input type="checkbox"/>	食品流通論		2				○			
	<input type="checkbox"/>	食文化概論		2				○			
	<input type="checkbox"/>	官能評価論, 鑑別論	演	2					○		
	<input type="checkbox"/>	健康と栄養		2		○					
	<input type="checkbox"/>	製菓実習入門 I	実	1		○					製菓科目群
	<input type="checkbox"/>	製菓実習入門 II	実	1		○					
	<input type="checkbox"/>	製菓実習基礎 I	実	1			○				
	<input type="checkbox"/>	製菓実習基礎 II	実	1			○				
	<input type="checkbox"/>	製菓実習基礎 III	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	製菓実習基礎 IV	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	デザート実習入門 I	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	デザート実習入門 II	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	製パン実習 I	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	製パン実習 II	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	製菓理論の実践 I	実	1					○		
	<input type="checkbox"/>	製菓理論の実践 II	実	1					○		
	<input type="checkbox"/>	お菓子のアート I	実	1			○				
	<input type="checkbox"/>	お菓子のアート II	実	1			○				
	<input type="checkbox"/>	基礎原科学		1					○	フード科目群	
	<input type="checkbox"/>	調理実習 I	実	1			○				
	<input type="checkbox"/>	調理実習 II	実	1					○		
	<input type="checkbox"/>	調理実習 III	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	調理実習 IV	実	1					○		
	<input type="checkbox"/>	食品加工実習	実	1					○		
	<input type="checkbox"/>	献立の組み立て方		2					○		
	<input type="checkbox"/>	フーズスペシャリスト論		2		○					
	<input type="checkbox"/>	フードコーディネート論		2					○		
	<input type="checkbox"/>	調味料概論		2		○					観光・ホテル・ブライダル科目群
	<input type="checkbox"/>	観光学概論		2		○					
	<input type="checkbox"/>	観光英会話 I	演	1		○					
	<input type="checkbox"/>	観光英会話 II	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	観光実務(国内)		2			○				
	<input type="checkbox"/>	観光地理 I (国内)		2			○				
	<input type="checkbox"/>	観光地理 II (海外)		2				○			
	<input type="checkbox"/>	海外事情		2				○			
	<input type="checkbox"/>	観光関連法規・約款		2			○				
	<input type="checkbox"/>	旅行運賃実務	演	1					○		
	<input type="checkbox"/>	ツアープランニング演習	演	1					○		
	<input type="checkbox"/>	ホテルサービス概論		2		○					
	<input type="checkbox"/>	ゲストサービス演習	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	ブライダル産業論		2		○					
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論		2					○		
	<input type="checkbox"/>	ブライダルコーディネート演習	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	料飲サービス実習	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	ユニバーサルサービス演習	演	1					○		
	<input type="checkbox"/>	ホテルの英語	演	1				○			
	<input type="checkbox"/>	接客外国語入門	演	1					○		
	<input type="checkbox"/>	異文化間コミュニケーション		2					○		
	<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーション I	演	1		○					
	<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーション II	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	ホテル実習		1			●	●	1年次または2年次に開講 春学期または秋学期に実施		
	<input type="checkbox"/>	地域インターンシップ	演	1		●	●				
	<input type="checkbox"/>	ファッションコーディネート論		2					○	ファッション・造形デザイン科目群	
	<input type="checkbox"/>	ファッションデザイン画 I	演	1		○					
	<input type="checkbox"/>	ファッションデザイン画 II	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	ファッション造形実習 I ~1	実	1		◎					
	<input type="checkbox"/>	ファッション造形実習 I ~2	実	1			◎				
	<input type="checkbox"/>	ファッション造形実習 II ~1	実	1				◎			
	<input type="checkbox"/>	ファッション造形実習 II ~2	実	1					◎		
	<input type="checkbox"/>	和服造形・着付け実習 I	実	1		◎					
	<input type="checkbox"/>	和服造形・着付け実習 II	実	1			◎				
	<input type="checkbox"/>	ファッションビジネス論		2			◎				
	<input type="checkbox"/>	ファッションビジネス実務演習	演	1				◎			
	<input type="checkbox"/>	ファッション商品論		2					◎		
	<input type="checkbox"/>	アパレル企画論・演習	演	1			◎				
	<input type="checkbox"/>	パターンメイキング	演	1				○			
	<input type="checkbox"/>	アパレル設計・生産実習	実	1		◎					
	<input type="checkbox"/>	衣生活論		2					○		
	<input type="checkbox"/>	クラフト	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	テキスタイル実習	実	1					○		
	<input type="checkbox"/>	染色加工学実験	実	1			○				
	<input type="checkbox"/>	被服整理学実験	実	1					○		
	<input type="checkbox"/>	色彩学		2		○					
	<input type="checkbox"/>	デザイン論 (副題 色彩とデザイン)		2		○					
	<input type="checkbox"/>	インテリア計画		2			○				
	<input type="checkbox"/>	CG(ペイント系)演習	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	CG(イラスト・ドロー系)演習	演	1				○			
	<input type="checkbox"/>	CG(動画)演習	演	1					○		
	<input type="checkbox"/>	CG(3D)演習	演	1					○		
		計									

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

	1年		2年		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
全学共通科目	聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ～1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) 社会貢献の理論と実践	聖徳教育 I 英語 I ～2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 地域貢献活動の実践	聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ～1	聖徳教育 I 英語 II ～2	
科目数	8	7	3	2	20
学科共通科目	キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 webの表現技法 秘書学概論 I	キャリアスタディ I 特別講座 I 簿記 I	キャリアスタディ II 特別講座 II 簿記 II 環境論	キャリアスタディ II 特別講座 II 暮らしと経済	
科目数	5	3	4	3	15
(共通、卒業必修科目群) 図書館司書科目	生涯学習概論 図書館サービス概論 情報資源組織論 ※日本の文学 ※日本語表現基礎 I	図書館概論 情報サービス論 図書館情報資源概論 図書館基礎特論 図書館情報技術論 ※日本語表現基礎 II	情報資源組織演習 I 児童サービス論 情報サービス演習 I 卒業研究 ※日本の文化 ※メディアリテラシー	図書・図書館史 情報資源組織演習 II 情報サービス演習 II 卒業研究	
科目数	5	6	6	4	21
選択科目※	情報システムの考え方	CG(ペイント系)演習 情報コミュニケーション技術	CG(ドロー系)演習 データベース演習 I	CG(動画)演習 データベース演習 II	
科目数	1	2	2	2	7
科目数計	19	18	15	11	63

※印は2科目4単位以上を卒業必修とする

図書館司書課程を履修する者はコース別必修科目のうち36単位を必修、選択科目は1単位以上とする。

	1年		2年		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
全学共通科目	聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ～1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) 社会貢献の理論と実践	聖徳教育 I 英語 I ～2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 地域貢献活動の実践	聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ～1	聖徳教育 I 英語 II ～2	
科目数	8	7	3	2	20
学科共通科目	キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 情報システムの考え方 秘書学概論 I webの表現技法	キャリアスタディ I 特別講座 I 簿記 I	キャリアスタディ II 特別講座 II 簿記 II 環境論	キャリアスタディ II 特別講座 II 暮らしと経済	
科目数	6	3	4	3	16
(共通卒業 I 必修科目 目群)	プログラミング基礎 日本語プレゼンテーション I 情報資源組織論	情報処理論 日本語プレゼンテーション II データ分析の方法 プログラムの書き方 I 図書館情報技術論	編集技法(DTP) I 情報資源組織演習 I プログラムの書き方 II 卒業研究	編集技法(DTP) II 情報資源組織演習 II 卒業研究	
科目数	3	5	4	3	15
選択科目※	日本の文学 日本語表現基礎 I	CG(ペイント系)演習 日本語表現基礎 II 情報コミュニケーション技術	CG(イラスト・ドロー系)演習 日本の文化 データベース演習 I メディアリテラシー	CG(動画)演習 データベース演習 II	
科目数	2	3	4	2	11
科目数計	19	18	15	10	62

※全コースの科目及び資格の科目群から18単位以上を履修

国際観光・ホテルコース 専門科目(B類)

専門教育科目(B類) 学科共通科目

別表13-1

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	観光実務士	履修年次				備考
							1		2		
							春	秋	春	秋	
専門基礎 (キャリア教育)	<input type="checkbox"/>	キャリアスタディⅠ	演	2	○		○	○			SEITOKU Academic LiteracyⅢ
	<input type="checkbox"/>	キャリアスタディⅡ	演	2	○			○	○		
	<input type="checkbox"/>	キャリア実践演習	演	1	○		○				
	<input type="checkbox"/>	特別講座Ⅰ	演	1				○			
	<input type="checkbox"/>	特別講座Ⅱ		2					○	○	
専門基礎 科目 (情報技術)	<input type="checkbox"/>	データ整理の方法	演	1		○	○				情報活用演習(基礎)に充当
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションの技法	演	1		○	○				
	<input type="checkbox"/>	文書作成技法	演	(1)	○		○				
	<input type="checkbox"/>	webの表現技法	演	1	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	情報システムの考え方		2			○				
専門基礎 科目 (ビジネス)	<input type="checkbox"/>	暮らしと経済		2	※	※				○	卒業必修欄に※が付された科目から2科目4単位以上履修すること (観光実務士取得希望者は「暮らしと経済」または「簿記Ⅰ」のどちらかは履修すること)
	<input type="checkbox"/>	秘書学概論Ⅰ		2	※		○				
	<input type="checkbox"/>	簿記Ⅰ		2	※	※		○			
環境	<input type="checkbox"/>	環境論		2	※				●	●	環境論は春学期または秋学期に開講
		計		23							

専門教育科目(B類) 必修科目

別表13-2

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	観光実務士	履修年次				備考
							1		2		
							春	秋	春	秋	
観光・ホテル・ブライダル科目群 (必修19単位)	<input type="checkbox"/>	卒業研究	演	2	○				○	○	1年次または2年次に開講 春学期または秋学期に実施
	<input type="checkbox"/>	観光学概論		2	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	観光英会話Ⅰ	演	1	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	観光英会話Ⅱ	演	1	○	○		○			
	<input type="checkbox"/>	観光実務(国内)		2	○	○		○			
	<input type="checkbox"/>	観光地理Ⅰ(国内)		2	○	○		○			
	<input type="checkbox"/>	観光地理Ⅱ(海外)		2	○	○			○		
	<input type="checkbox"/>	海外事情		2	○	○			○		
	<input type="checkbox"/>	観光関連法規・約款		2		○		○			
	<input type="checkbox"/>	旅行運賃実務	演	1		○				○	
	<input type="checkbox"/>	ツアープランニング演習	演	1	○	○				○	
	<input type="checkbox"/>	ホテルサービス概論		2	○		○				
	<input type="checkbox"/>	ゲストサービス演習	演	1	○		○				
	<input type="checkbox"/>	ブライダル産業論		2		○		○			
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論		2		○				○	
	<input type="checkbox"/>	ブライダルコーディネート演習	演	1				○			
	<input type="checkbox"/>	料飲サービス実習	実	1	○					○	
	<input type="checkbox"/>	ユニバーサルサービス演習	演	1						○	
	<input type="checkbox"/>	ホテルの英語	演	1	○	○				○	
	<input type="checkbox"/>	接客外国語入門	演	1						○	
	<input type="checkbox"/>	異文化間コミュニケーション		2	○					○	
	<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーションⅠ	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーションⅡ	演	1				○			
<input type="checkbox"/>	ホテル実習		1	○				●	●		
<input type="checkbox"/>	地域インターンシップ	演	1			●	●				
		計		36							

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期を示す。

【資格】観光実務士取得希望者は、観光実務士欄の○印の科目をすべてと※印の「簿記Ⅰ」または「暮らしと経済」のいずれかを履修すること。

また、別表10の全学共通科目(A類)より「社会貢献の理論と実践」と「地域貢献活動の実践」をあわせて履修すること。

区分	授業科目	単位数	履修年次	1		2		備考	
				春		秋			
				春	秋	春	秋		
A	基礎調理実習	実 1		○				フードマネジメントコース共通科目群	
	調理学	2		○					
	食品学	2		○					
	食品衛生学	2			○				
	食品流通論	2				○			
	食文化概論	2				○			
	官能評価論, 鑑別論	演 2					○		
	健康と栄養	2		○					
	製菓実習入門 I	実 1		○					製菓科目群
	製菓実習入門 II	実 1		○					
	製菓実習基礎 I	実 1			○				
	製菓実習基礎 II	実 1			○				
	製菓実習基礎 III	実 1				○			
	製菓実習基礎 IV	実 1				○			
	デザート実習入門 I	実 1			○				
	デザート実習入門 II	実 1			○				
	製パン実習 I	実 1			○				
	製パン実習 II	実 1			○				
	製菓理論の実践 I	実 1				○			
	製菓理論の実践 II	実 1				○			
	お菓子のアート I	実 1			○				
	お菓子のアート II	実 1			○				
	基礎原科学	1				○		フード科目群	
	調理実習 I	実 1			○				
	調理実習 II	実 1				○			
調理実習 III	実 1				○				
調理実習 IV	実 1				○				
食品加工実習	実 1				○				
献立の組み立て方	2				○				
フードスペシャリスト論	2		○						
フードコーディネーター論	2				○				
調味料概論	2		○						
情報処理論	2			○			図書館司書・ITコース共通科目群		
プログラミング基礎	2		○						
図書館情報技術論	2			○					
情報資源組織論	2		○						
情報資源組織演習 I	演 1				○				
B	生涯学習概論	2		○				図書館司書科目群	
	図書館概論	2			○				
	図書館制度・経営論	2			○				
	図書・図書館史	2				○			
	図書館サービス概論	2		○					
	情報資源組織演習 II	演 1				○			
	図書館情報資源概論	2			○				
	図書館基礎特論	2				○			
	情報サービス論	2			○				
	児童サービス論	2				○			
	情報サービス演習 I	演 1				○			
	情報サービス演習 II	演 1				○			
	日本の文学	2		○				IT科目群	
	日本の文化	2				○			
	日本語表現基礎 I	2		○					
	日本語表現基礎 II	2			○				
	メディアリテラシー	2				○			
	日本語プレゼンテーション I	演 1		○					
	日本語プレゼンテーション II	演 1			○				
	CG(ペイント系)演習	演 1			○				
	CG(イラスト・ドロー系)演習	演 1				○			
	CG(動画)演習	演 1				○			
	編集技法(DTP) I	演 1				○			
	編集技法(DTP) II	演 1				○			
	データ分析の方法	演 1			○				
データベース演習 I	演 1				○				
データベース演習 II	演 1				○				
プログラムの書き方 I	演 1			○					
プログラムの書き方 II	演 1				○				
情報コミュニケーション技術	2			○			ファッション・造形デザイン科目群		
ファッションコーディネーター論	2				○				
ファッションデザイン画 I	演 1		○						
ファッションデザイン画 II	演 1			○					
ファッション造形実習 I ~1	実 1		◎						
ファッション造形実習 I ~2	実 1			◎					
ファッション造形実習 II ~1	実 1				◎				
ファッション造形実習 II ~2	実 1				◎				
和服造形・着付け実習 I	実 1		◎						
和服造形・着付け実習 II	実 1			◎					
ファッションビジネス論	2			◎					
ファッションビジネス実務演習	演 1				◎				
ファッション商品論	2				◎				
アパレル企画論・演習	演 1			◎					
パターンメイキング	演 1				◎				
アパレル設計・生産実習	実 1		◎						
衣生活論	2				◎				
クラフト	演 1			○					
テキスタイル実習	実 1				○				
染色加工学実験	実 1			○					
被服整理学実験	実 1				○				
色彩学	2		○						
デザイン論 (副題 色彩とデザイン)	2		○						
インテリア計画	2			○					
CG(ペイント系)演習	演 1			○					
CG(イラスト・ドロー系)演習	演 1				○				
CG(動画)演習	演 1				○				
CG(3D)演習	演 1				○				
計	131								

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

	1年		2年		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
全学共通科目	聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ～1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) 社会貢献の理論と実践	聖徳教育 I 英語 I ～2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 地域貢献活動の実践	聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ～1	聖徳教育 I 英語 II ～2	
科目数	8	7	3	2	20
学科共通科目	キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 webの表現技法 秘書学概論 I	キャリアスタディ I 特別講座 I 簿記 I	キャリアスタディ II 特別講座 II 簿記 II 環境論	キャリアスタディ II 特別講座 II 暮らしと経済	
科目数	5	3	4	3	15
(観光・ホテル科目群) 卒業必修科目	観光英会話 I 観光学概論 ホテルサービス概論 日本語プレゼンテーション I	観光地理 I (国内) ゲストサービス演習 観光英会話 II ホテル実習	ホテルの英語 海外事情 卒業研究	ツアープランニング演習 異文化間コミュニケーション 卒業研究	
科目数	4	4	3	3	14
選択科目※	ブライダル産業論 地域インターンシップ	観光実務(国内) 観光関連法規・約款 日本語プレゼンテーション II ブライダルコーディネート演習	観光地理 II (海外) 料飲サービス実習 日本の文化 デザート実習入門 I デザート実習入門 II	接客外国語入門 ホスピタリティ産業論 旅行運賃実務 ユニバーサルサービス演習	
科目数	2	4	5	4	15
科目数計	19	18	15	12	64

※全コースの科目及び資格の科目群から18単位以上を履修

ファッション・造形デザインコース 専門科目(B類)

専門教育科目(B類) 学科共通科目

別表14-1

区分	デニツク種	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	履修年次				備考
						1		2		
						春	秋	春	秋	
専門基礎 (キャリア教育)	<input type="checkbox"/>	キャリアスタディ I	演	2	○	○				SEITOKU Academic Literacy III
	<input type="checkbox"/>	キャリアスタディ II	演	2	○		○	○		
	<input type="checkbox"/>	キャリア実践演習	演	1	○	○				
	<input type="checkbox"/>	特別講座 I	演	1		○				
	<input type="checkbox"/>	特別講座 II		2			○	○		
専門基礎 科目 (情報技術)	<input type="checkbox"/>	データ整理の方法	演	1		○				情報活用演習(基礎)に充当
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションの技法	演	1		○				
	<input type="checkbox"/>	文書作成技法	演	(1)	○	○				
	<input type="checkbox"/>	webの表現技法	演	1	○	○				
	<input type="checkbox"/>	情報システムの考え方		2		○				
専門基礎 科目 (ビジネス)	<input type="checkbox"/>	暮らしと経済		2	※				○	卒業必修欄に※が付された科目から 2科目4単位以上履修すること
	<input type="checkbox"/>	秘書学概論 I		2	※	○				
	<input type="checkbox"/>	簿記 I		2	※		○			
	<input type="checkbox"/>	簿記 II		2	※			○		
環境	<input type="checkbox"/>	環境論		2	※			●	●	環境論は春学期または秋学期に開講
計					23					

専門教育科目(B類) 必修科目

別表14-2

区分	デニツク種	授業科目	授業の方法	単位数	卒業必修	履修年次				備考	
						1		2			
						春	秋	春	秋		
ファッション・造形デザイン科目群 (必修19単位)	<input type="checkbox"/>	ファッションコーディネート論		2					○		
	<input type="checkbox"/>	ファッションデザイン画 I	演	1	○	○					
	<input type="checkbox"/>	ファッションデザイン画 II	演	1	○	○					
	<input type="checkbox"/>	ファッション造形実習 I ~1	実	1	○	◎					
	<input type="checkbox"/>	ファッション造形実習 I ~2	実	1	○	◎					
	<input type="checkbox"/>	ファッション造形実習 II ~1	実	1	○		◎				
	<input type="checkbox"/>	ファッション造形実習 II ~2	実	1	○			◎			
	<input type="checkbox"/>	和服造形・着付け実習 I	実	1	○	◎					
	<input type="checkbox"/>	和服造形・着付け実習 II	実	1	○	◎					
	<input type="checkbox"/>	ファッションビジネス論		2	○	◎					
	<input type="checkbox"/>	ファッションビジネス実務演習	演	1			◎				
	<input type="checkbox"/>	ファッション商品論		2	○				◎		
	<input type="checkbox"/>	アパレル企画論・演習	演	1	○	◎					
	<input type="checkbox"/>	パターンメイキング	演	1	○		○				
	<input type="checkbox"/>	アパレル設計・生産実習	実	1	○	◎					
	<input type="checkbox"/>	衣生活論		2			○				
	<input type="checkbox"/>	クラブ	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	テキスタイル実習	実	1					○		
	<input type="checkbox"/>	染色加工学実験	実	1			○				
	<input type="checkbox"/>	被服整理学実験	実	1				○			
	<input type="checkbox"/>	色彩学		2	○	○					
	<input type="checkbox"/>	デザイン論 (副題 色彩とデザイン)		2		○					
	<input type="checkbox"/>	インテリア計画		2			○				
	<input type="checkbox"/>	CG(ペイント系)演習	演	1			○				
	<input type="checkbox"/>	CG(イラスト・ドロー系)演習	演	1				○			
	<input type="checkbox"/>	CG(3D)演習	演	1					○		
	<input type="checkbox"/>	CG(動画)演習	演	1					○		
	<input type="checkbox"/>	卒業制作	演	2	○				○	○	
	計					36					

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期を示す。

区分	デ モ ス ト ラ シ ョ ン	授 業 科 目	単 位 数	実 験 の 有 無	卒 業 必 修	履 修 年 次				備 考	
						1		2			
						春	秋	春	秋		
		基礎調理実習	実 1			○				フードマネジメントコース共通科目群	
		調理学	2			○					
		食品学	2			○					
		食品衛生学	2				○				
		食品流通論	2					○			
		食文化概論	2					○			
		官能評価論, 鑑別論	演 2					○			
		健康と栄養	2			○					
		製菓実習入門 I	実 1			○					製菓科目群
		製菓実習入門 II	実 1			○					
		製菓実習基礎 I	実 1				○				
		製菓実習基礎 II	実 1				○				
		製菓実習基礎 III	実 1					○			
		製菓実習基礎 IV	実 1					○			
		デザート実習入門 I	実 1					○			
		デザート実習入門 II	実 1					○			
		製パン実習 I	実 1					○			
		製パン実習 II	実 1					○			
		製菓理論の実践 I	実 1					○			
		製菓理論の実践 II	実 1					○			
		お菓子のアート I	実 1				○				
		お菓子のアート II	実 1				○				
		基礎原科学	1					○			
		調理実習 I	実 1				○			フード科目群	
		調理実習 II	実 1					○			
		調理実習 III	実 1					○			
		調理実習 IV	実 1					○			
		食品加工実習	実 1					○			
		献立の組み立て方	2					○			
		フードスペシャリスト論	2			○					
		フードコーディネーター論	2					○			
		調味料概論	2			○					
		情報処理論	2				○				図書館司書・ITコース共通科目群
		プログラミング基礎	2				○				
		図書館情報技術論	2				○				
		情報資源組織論	2				○				
		情報資源組織演習 I	演 1					○			
		生涯学習概論	2				○			図書館司書科目群	
		図書館概論	2					○			
		図書館制度・経営論	2					○			
		図書・図書館史	2					○			
		図書館サービス概論	2				○				
		情報資源組織演習 II	演 1					○			
		図書館情報資源概論	2					○			
		図書館基礎特論	2					○			
		情報サービス論	2					○			
		児童サービス論	2					○			
		情報サービス演習 I	演 1					○			
		情報サービス演習 II	演 1					○			
		日本の文学	2					○			
		日本の文化	2					○			
		日本語表現基礎 I	2					○			
		日本語表現基礎 II	2					○			
		メディアリテラシー	2					○			
		日本語プレゼンテーション I	演 1				○			IT科目群	
		日本語プレゼンテーション II	演 1					○			
		CG(ペイント系)演習	演 1					○			
		CG(イラスト・ドロー系)演習	演 1					○			
		CG(動画)演習	演 1					○			
		編集技法(DTP) I	演 1					○			
		編集技法(DTP) II	演 1					○			
		データ分析の方法	演 1					○			
		データベース演習 I	演 1					○			
		データベース演習 II	演 1					○			
		プログラムの書き方 I	演 1					○			
		プログラムの書き方 II	演 1					○			
		情報コミュニケーション技術	2					○			
		観光学概論	2					○			観光・ホテル・ブライダル科目群
		観光英会話 I	演 1					○			
		観光英会話 II	演 1					○			
		観光実務(国内)	2					○			
		観光地理 I(国内)	2					○			
		観光地理 II(海外)	2					○			
		海外事情	2					○			
		観光関連法規・約款	2					○			
		旅行運賃実務	演 1					○			
		ツアープランニング演習	演 1					○			
		ホテルサービス概論	2					○			
		ゲストサービス演習	演 1					○			
		ブライダル産業論	2					○			
		ホスピタリティ産業論	2					○			
		ブライダルコーディネーター演習	演 1					○			
		料飲サービス実習	実 1					○			
		ユニバーサルサービス演習	演 1					○			
		ホテルの英語	演 1					○			
		接客外国語入門	演 1					○			
		異文化間コミュニケーション	2					○			
		日本語プレゼンテーション I	演 1					○			
		日本語プレゼンテーション II	演 1					○			
		ホテル実習	1					●	1年次または2年次に開講		
		地域インターンシップ	演 1					●	春学期または秋学期に実施		
		計	131								

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

総合文化学科ファッション・造形デザインコース ファッション科目群 履修モデル

	1年		2年		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
全学共通科目	聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I ～1 スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) 社会貢献の理論と実践	聖徳教育 I 英語 I ～2 SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II 教養科目 小笠原流礼法基礎講座 地域貢献活動の実践	聖徳教育 I 聖徳教育 II 英語 II ～1	聖徳教育 I 英語 II ～2	
科目数	8	7	3	2	20
学科共通科目	キャリアスタディ I キャリア実践演習 データ整理の方法 webの表現技法 秘書学概論 I	キャリアスタディ I 特別講座 I 簿記 I	キャリアスタディ II 特別講座 II 簿記 II 環境論	キャリアスタディ II 特別講座 II 暮らしと経済	
科目数	5	3	4	3	15
(ファッション卒業必修科目群)	色彩学 ファッションデザイン画 I ファッション造形実習 I ～1 和服造形・着付け実習 I アパレル設計・生産実習	ファッションデザイン画 II ファッション造形実習 I ～2 ファッションビジネス論 和服造形・着付け実習 II アパレル企画論・演習	パターンメイキング ファッション造形実習 II ～1 卒業制作	ファッション造形実習 II ～2 ファッション商品論 卒業制作	
科目数	5	5	3	3	16
選択科目※	クラフト 色彩学 デザイン論	染色加工学実験 クラフト インテリア計画 CG(ペイント系)演習	ファッションビジネス実務演習 衣生活論 被服整理学実験 CG(イラスト・ドロー系)演習	ファッションコーディネート論 テキスタイル実習 CG(3D)演習 CG(動画)演習	
科目数	3	4	4	4	15
科目数計	21	19	14	12	66

※全コースの科目及び資格の科目群から18単位以上を履修

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 フードマネジメントコース(フード科目群) カリキュラムマップ

食品健康調理に関する知識と技能を持ち、
食を総合的にデザインする能力のある人

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
	「食」の基本を身につける	「食」を通じて視野を広げる	「食」を通じて考える力をつける	「食」に関する総合的な知識を得る
食品、健康、調理の基礎知識を知り、多面的な思考力を身につける	食品学	食品衛生学		〔選択〕食品加工実習
	調理学			官能評価論・鑑別論
	健康と栄養			献立の組立て方
	〔選択〕フードスペシャリスト論			
調理技術や製菓の製作技術の基 本を実践的に身につける	基礎調理実習	調理実習Ⅰ	〔選択〕デザート実習入門Ⅰ 〔選択〕デザート実習入門Ⅱ	〔選択〕製菓理論の実践Ⅰ 〔選択〕製菓理論の実践Ⅱ
		〔選択〕お菓子のアートⅠ 〔選択〕お菓子のアートⅡ	調理実習Ⅲ	調理実習Ⅱ 調理実習Ⅳ
	〔選択〕調味料概論		〔選択〕食文化概論	〔選択〕フードコーディネート論
			卒業研究	〔選択〕食品流通論 卒業研究
広い視野で「食」を学び、自らの 感性を育てる力が身につく	キャリアスタディⅠ	キャリアスタディⅠ	キャリアスタディⅡ	キャリアスタディⅡ
	キャリア実践演習	〔選択〕特別講座Ⅰ	〔選択〕特別講座Ⅱ	〔選択〕特別講座Ⅱ
	〔選択必修〕秘書学概論Ⅰ	〔選択必修〕簿記Ⅰ	〔選択〕簿記Ⅱ	〔選択必修〕暮らしと経済
	データ整理の方法			
キャリア実践力を形成し、 ビジネスで活きる実践的技 能や視点を身につける	〔選択〕情報システムの考え方 社会貢献の理論と実践	〔選択〕秘書学概論Ⅱ 地域貢献活動の実践	〔選択〕秘書実務演習Ⅰ	〔選択〕秘書実務演習Ⅱ
	スポーツと健康Ⅰ	スポーツと健康Ⅱ	〔選択必修〕環境論	〔選択必修〕環境論
	情報活用演習(基礎)	教養科目	教養科目	教養科目
	英語Ⅰ～1 Webの表現技法	英語Ⅰ～2	英語Ⅱ～1	英語Ⅱ～2
学びの基礎を身につける	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ
	聖徳教育Ⅱ	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅱ	
	聖徳教育Ⅲ SETTOKU Academic Literacy I・II	聖徳教育Ⅲ SETTOKU Academic Literacy I・II		
人間性を高める				
教育目標	食品の知識、調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ		「食」を多方面から見て、専門性を高める	

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 フードマネジメントコース(フード科目群) 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

	1 年次春学期	1 年次秋学期	2 年次春学期	2 年次秋学期	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
食品、健康、調理の基礎知識を知り、多面的な思考力を身につける	「食」の基礎を身につける	「食」を通じて視野を広げる	「食」を通じて考えられる力をつける	「食」に関する総合的な知識を得る	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
食品、健康、調理の基礎知識を知り、多面的な思考力を身につける	食品と栄養素及び調理の基礎を学び、食生活に取り入れることができる。	食品と栄養素に活かすことができ、衛生生活についての基礎を学ぶ。	食品を正しく選択し、食品の評価ができる。	食品の加工や成分変化を知り、取り扱いなどに必要な多面的な思考力を身につけることができる。	専門分野及び専門分野を超えた学際的な知識・技能、ICT活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。
調理技術や製菓の製作技術の基本的な知識を身につける	調理の基礎を学び、基本技術を食生活に取り入れることができる。	調理技術を幅広く学び、基本技術を食生活に取り入れることができる。	菓子の基本とデザートに取り入れることができる。	集団調理実習を通じ、給食施設における調理の実際を知ることができる。	
高度な専門技術を修得し、応用力、創造性を身につける	給細工やチョココレーションを通してキーテクノロジーの基礎を身につけることができる。	給細工やチョココレーションを通してキーテクノロジーの基礎を身につけることができる。	調理技術を幅広く学び、ジャンルによる違いなども理解することができる。	調理技術を幅広く学び、ジャンルによる違いなども理解することから第一線で活躍するシエフから最新の技術を知ることができる。	
広い視野で「食」を学び、自らの感性を育てる力が身につく	調味料の特徴や使い方を食生活に取り入れることができる。	調味料の特徴や使い方を食生活に取り入れることができる。	食に関する多文化・異文化の知識を修得し、教養の幅を広げることができる。	フードコーディネーターに必要な食品関係・流通など「食」に関する多様な知識を理解できる。	
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技術や視点を身につける	自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。	社会人基礎力を備え、一般企業の適性検査に対応することができる。	課題発見と解決策を明解に表現し、説得力のある説明ができる。簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができる。	地域社会と積極的に関わり、課題解決に至る合理的思考ができる。	自己を客観的に分析・表現しかつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。
幅広い教養を身につける	自己分析と自己形成のための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。	幅広い教養を身につけるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	種々の場面における最適な英語表現を選ぶことができる。	英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。	幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるときにも、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとブレインデーションができる。
人間性を高める	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識することができる。	幅広い教養を身につけるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	他者に対する思いやりと礼節を持ち、集団生活で自制することができる。	「和」の精神の持つ現代的意義を理解し、実生活に活用することができる。	思いやりと礼節心をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
教育目標	1 年次 食品の知識、調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ	2 年次 「食」を多方面から見えて、専門性を高める			卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果

食品栄養 調理に関する知識と技能を持ち、食を総合的にデザインする能力のある人

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 フードマネジメントコース(製菓科目群) カリキュラムマップ

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
	製菓と食品委関わる基礎知識を学ぶ 食品学 健康と栄養 〔選択〕調理学 〔選択〕フードパシヤリスト論	製菓に関する技能と関連技術の修得を目指す 食品衛生学	製菓の基礎知識と技能を学ぶ	製菓技術の進化と応用技術を学ぶ
食品、健康、調理の基礎知識を学び、多面的な思考力を身につける	製菓実習入門Ⅰ 製菓実習入門Ⅱ 〔選択〕基礎調理実習	製菓実習基礎Ⅰ 製菓実習基礎Ⅱ	製菓実習基礎Ⅲ 製菓実習基礎Ⅳ 〔選択〕デザート実習入門Ⅰ 〔選択〕デザート実習入門Ⅱ 〔選択〕調理実習Ⅲ	〔選択〕食品加工実習 官能評価論、識別論 〔選択〕献立の組立て方
調理技術や製菓の製作技術の基本を実践的に身につける	〔選択〕基礎調理実習	〔選択〕調理実習Ⅰ 〔選択〕お菓子のアートⅠ 〔選択〕お菓子のアートⅡ	製パン実習Ⅰ 製パン実習Ⅱ 卒業制作	〔選択〕調理実習Ⅳ 〔選択〕製菓理論の実践Ⅰ 〔選択〕製菓理論の実践Ⅱ 卒業制作
製菓における高度な専門技術を修得し、応用力、創造性を身につける	〔選択〕調味料概論	基礎原料学	〔選択〕食文化概論	〔選択〕食品流通論 〔選択〕フードコーディネート論
広い視野で「食」を学び、目らの感性を育てる力が身につく	キャリアスタディⅠ キャリア実践演習 〔選択必修〕秘書学概論Ⅰ データ整理の方法 〔選択〕情報システムの考え方 社会貢献の理論と実践	キャリアスタディⅠ 〔選択〕特別講座Ⅰ 〔選択必修〕簿記Ⅰ 〔選択〕秘書学概論Ⅱ 地域貢献活動の実践	キャリアスタディⅡ 〔選択〕特別講座Ⅱ 〔選択〕簿記Ⅱ 〔選択〕秘書実務演習Ⅰ	キャリアスタディⅡ 〔選択〕特別講座Ⅱ 〔選択必修〕暮らしと経済 〔選択〕秘書実務演習Ⅱ
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技術や視点を身につける	スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習(基礎) 英語Ⅰ～1 Webの表現技法	スポーツと健康Ⅱ 教養科目 英語Ⅰ～2	〔選択必修〕環境論 教養科目 英語Ⅱ～1	〔選択必修〕環境論 教養科目 英語Ⅱ～2
学びの基礎を身につける	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅠ・Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅡ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ
人間性を高める				
教育目標	1年次 食品の知識、調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ		2年次 「食」を多方面から見て、専門性を高める	

パティシエール(パティシエ)としての力を有し
製菓・食品業界で活躍できる人

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 フードマネジメントコース(製菓科目群) 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

	1 年次春学期	1 年次秋学期	2 年次春学期	2 年次秋学期	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
製菓と食品に係わる基礎知識を学ぶ	製菓に係わる基礎知識を学ぶ	製菓に係わる技能と関連技術の習得を目指す	製菓の基礎知識を技能を学ぶ	製菓技術の深化と応用技術を学ぶ	
食品、健康、調理の基礎知識を知り、多面的な思考力を身につける	食品と栄養素及び調理の基礎を学び、食生活に取り入れることができる。	食品と衛生についての基礎を学び、実践に活かすことができる。			専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。
調理技術や製菓の製作技術の基本を実践的に身につける	製菓の基礎を学び、製菓における基本作業と基本生地、基本クレームが一人でできるようになる。	基本生地と基本クレームを修得しつつ作業工程を自ら考えることを身につける。	複雑な組み合わせの菓子をチームで工程を考え、時間内に作り上げることができる。		
製菓における高度な専門技術を修得し、応用力、創造性を身につける	給細工やチョココレーションの基礎を身につけることができる。	給細工やチョココレーションを通してキーデコレーションの基礎を身につけることができる。	製パンを基礎から応用までを学ぶことで製菓の応用力と創造性を身につける。	菓子製造の専門的な知識と技能を生かし、レシビを創造することができ。	
広い視野で「食」を学び、自らの感性を育てる力が身につく	調味料の特徴や使い方を食生活に取り入れることができる。	菓子原料を学ぶことで科学的な側面から製菓理論を知ることができる。	食に関する多文化、異文化の知識を修得し、教養の幅を広げることができる。	食品開発・流通など多方面から「食」を見ることができ。	
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技術や視点を身につける	自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。	社会人基礎力を備え、一般企業の適性検査に対応することができる。	課題発見と解決策を明解に表現し、説得力のある説明ができる。簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができ。	地域社会と構造的に関わり、課題解決に至る合理的思考ができる。	自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて地域の課題を思考・実践し解決することができる。
学びの基礎を身につける	学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。	幅広い教養を身に付けるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	種々の場面における豊富な英語表現を選ぶことができる。	英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。	幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるときにも、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。
人間性を高める	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識することができる。	情操を高め、教養の幅を広げることができる。	他者に対する思いやりと礼節を持ち、集団生活で自制することができる。	「和」の精神の持つ現代的意義を理解し、実生活に応用することができる。	思いやりと礼節心をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
教育目標	1 年次 食品の知識、調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ	2 年次 「食」を多方面から見て、専門性を高める			卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果

パティシエール(パティシエ)としての力を有し、製菓・食品業界で活躍できる人

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 図書館司書・ITコース（図書館司書科目群）カリキュラムマップ

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
	図書館の基礎を学ぶ	図書館の基礎と情報サービスについて学ぶ	応用技能を習得する	応用技能と実践的な力を発展させる
図書館の本質を理解し、図書館経営の基本的知識を身に付ける	生涯学習概論	図書館概論		図書館基礎特論
	図書館サービス概論	図書館制度・経営論	卒業研究	図書・図書館史 卒業研究
	情報資源組織論	図書館情報資源概論		
	情報資源組織論	図書館情報資源概論	情報資源組織演習 I	情報資源組織演習 II
	プログラミング基礎	情報処理論	〔選択〕 データベース演習 I	〔選択〕 データベース演習 II
		〔選択〕 情報コミュニケーション技術	児童サービス論	
		情報サービス論	情報サービス演習 I	情報サービス演習 II
		図書館情報技術論		
		〔選択必修〕 日本の文学	〔選択必修〕 日本の文化	
		〔選択必修〕 日本語表現基礎 I	〔選択必修〕 日本語表現基礎 II	
		〔選択必修〕 メディアリテラシー		
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技術や視点を身につける	キャリアスタディ I	キャリアスタディ I	キャリアスタディ II	キャリアスタディ II
	キャリア実践演習	〔選択〕 特別講座 I	〔選択〕 特別講座 II	〔選択〕 特別講座 II
	〔選択必修〕 秘書学概論 I	〔選択必修〕 簿記 I	〔選択〕 簿記 II	〔選択必修〕 暮らしと経済
	データ整理の方法			
	〔選択〕 情報システムの考え方 社会貢献の理論と実践	〔選択〕 秘書学概論 II 地域貢献活動の実践	〔選択〕 秘書実務演習 I	〔選択〕 秘書実務演習 II
学びの基礎を身につける	スポーツと健康 I	スポーツと健康 II	〔選択必修〕 環境論	〔選択必修〕 環境論
	情報活用演習（基礎）	教養科目	教養科目	教養科目
	英語 I～1	英語 I～2	英語 II～1	英語 II～2
	Webの表現技法			
人間性を高める	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I
	聖徳教育 II	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育 II	
	聖徳教育 III SEITOKU Academic Literacy I・II	聖徳教育 III SEITOKU Academic Literacy II		
教育目標	図書館の機能と図書館サービスの基礎について学ぶ		図書館サービスの応用と実践について学ぶ	

図書館司書として、情報の検索・分析・処理能力を身につけ、
ビジネス人として活躍できる人

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 図書館司書・ITコース (図書館司書科目群) 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

図書館司書として、ビジネス人として活躍できる人
 情報の検索・分析・処理能力を身につけ、

	1年次春学期 図書館の基礎を学ぶ	1年次秋学期 図書館の基礎と情報サービスについて学ぶ	2年次春学期 応用技能を習得する	2年次秋学期 応用技能と実践的な力を発展させる
図書館の本質を理解し、図書館経営の基本的知識を身に付ける	生涯学習の意義と図書館の役割について理解できる。	図書館の制度や図書館経営について学び、図書館司書の使命を認識することができる。	卒業研究を通して文献の調査、分析に関する知識を習得できる。	図書館の歴史や特定領域について学び、問題の発見やその解決を図ることができる。
情報資源の特徴を理解し、情報資源組織化の理論・技術を身に付ける	図書館の情報資源について、規則に従って分類・整理するための理論と知識を習得し、説明できる。	図書館で扱う情報資源について理解することができる。	図書館の情報資源について、規則に従って適切に目録を作成することができる。	専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。
各種サービスの理論を理解し、情報サービス・児童サービスの実践力を養う	利用者に情報を提供する図書館司書の役割を把握し、図書館において活用されている情報技術について理解できる。	読み聞かせなど児童へのサービスや情報検索サービスを学び、実社会で活かすことができる。	シニアサービスサービスの理論と実践的な力を身につけることができる。	
日本の文化、日本語表現を理解し、日本文学についての教養を身につける	作品講読を通じて人生と文学との関係を探ることができる。	日本語運用に必要な基礎的知識を修得し、文字・音声両面での確に表現することができる。	民話や昔話などの調査及び作品制作を通じて、地域文化の特質を捉えることができる。	自己を客観的に分析・表現し、自分の生き方を省察してデザインすることができる。 学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて地域の課題を思考・実践し解決することができる。
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技術や視点を身につける	自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。 各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。	社会人基礎力を備え、一般企業の適性検査に対応することができる。 簿記の基礎的技術を習得するとともに、経済上の時事問題を明確に説明することができる。	課題発見と解決策を明確に表現し、説得力のある説明ができる。 簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができる。	幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えられるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。
学びの基礎を身につける	学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。	幅広い教養を身に付けるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	種々の場面における最適な英語表現を選ぶことができる。	
人間性を高める	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識することができる。	情懷を高め、教養の幅を広げることができる。	他者に対する思いやりと礼節を持ち、実生活で自制することができる。	思いやりと礼節をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
教育目標	1年次 図書館の機能と図書館サービスの基礎について学ぶ	2年次 図書館サービスの応用と実践について学ぶ	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果

情報技術の多角的に活用し問題を解決する能力のある人
 情報の構成および抽出に関する知識と技能を持ち

	1 年次春学期	1 年次秋学期	2 年次春学期	2 年次秋学期
	情報処理の技術を知る	情報処理の技術を使う	情報処理による課題解決法を知る	情報処理による課題解決を行う
教養ある人が知るべき情報とコンピュータの知識を身につける	プログラミング基礎	情報処理論	(選択) メディアリテラシー	
	日本語プレゼンテーション I	(選択) 日本語プレゼンテーション II	(選択) 日本の文化	
コンピュータを利用して情報を解りやすく構成し、効果的に伝達する技能を身につける		CG(ペイント系)演習	CG(イラスト・ドロー系)演習	
			編集技法(DTP) I	(選択) 編集技法(DTP) II (選択) CG(動画)演習
コンピュータを利用してデータを系統的に分析する技能を身につける		データ分析の方法	(選択) データベース演習 I	(選択) データベース演習 II
		プログラムの書き方 I	プログラムの書き方 II	
課題を発見、理解し、これを情報システムにより解決する力を身につける		図書館情報技術論		
		(選択) 情報コミュニケーション技術		
情報資源組織論			情報資源組織演習 I	(選択) 情報資源組織演習 II
			卒業研究	卒業研究
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける	キャリアスタディ I	キャリアスタディ I	キャリアスタディ II	キャリアスタディ II
	キャリア実践演習	(選択) 特別講座 I	(選択) 特別講座 II	(選択) 特別講座 II
	(選択必修) 秘書学概論 I	(選択必修) 簿記 I	(選択) 簿記 II	(選択必修) 暮らしと経済
	データ整理の方法			
学びの基礎を身につける	(選択) 情報システムの考え方や社会貢献の理論と実践	(選択) 秘書学概論 II 地域貢献活動の実践	(選択) 秘書実務演習 I	(選択) 秘書実務演習 II
	スポーツと健康 I	スポーツと健康 II	(選択必修) 環境論	(選択必修) 環境論
人間の性を高める	情報活用演習 (基礎)	教養科目	教養科目	教養科目
	英語 I ~ 1 Webの表現技法	英語 I ~ 2	英語 II ~ 1	英語 II ~ 2
人間性を高める	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I
	聖徳教育 II	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育 II	
教育目標	聖徳教育 III SEITOKU Academic Literacy I・II	聖徳教育 III SEITOKU Academic Literacy II		
	情報処理技術を理解するとともに利用技能を身につける	情報処理技術を問題解決の場面で活用できる技能を身につける	1 年次	2 年次

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 図書館司書・ITコース（IT科目群） 学びで得られる成果（Learning Outcomes）

	1年次春学期		2年次春学期		2年次秋学期	
	情報処理の技術を知る	情報処理の技術を使う	情報処理による課題解決法を知る	情報処理による課題解決法を行う	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
教養ある人が知るべき情報とコンピュータインテグレーションの知識を身につける	伝えるべき情報を知るとともに、情報の符号化としてのデータの構成が理解できる。	デジタルコンピュテーティングおよびコミュニケーションの本質を理解できる。	デジタルコンピュテーティングが生活に与える影響を理解し、安全に利便性を享受できる。	情報処理による課題解決法を行う		
コンピュータを利用して情報を解りやすく構成し、効果的に伝達する技能を身につける	情報を画像で表現したり、テキストを組版する方法を理解できる。	情報を画像で表現したり、テキストを組版する多様な方法を理解できる。	情報を画像で表現したり、テキストを組版する多様な方法を理解できる。	情報を画像で表現したり、テキストを組版することで、伝わりやすい情報表現ができる。		専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。
コンピュータを利用してデータを系統的に分析する技能を身につける	データを分かりやすく整理し、簡単な分析を行うことができる。	データを分かりやすく整理し、簡単な分析を行うことができる。	大規模なデータ集合から、目的に合うデータを抽出したり、情報をデータとして符号化できる。	大量のデータを分析したり、解釈して、情報を抽出することができる。		
課題を発見、理解し、これを情報システムにより解決する力を身につける	情報システムはどのように構成され、どのように使うかが理解できる。	情報システムはどのような課題をどのような仕組みで解決するかを理解できる。	情報システムで解決すべき課題を発見し、問題解決のための要件の概要を理解できる。	問題解決のためのシステム要件を実現するための技法を理解し、基本的なシステムを実装できる。		自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて地域の課題を思考・実践し解決することができる。
キャリア実践力を形成し、ビジネスで生きる実践的技術や視点を身につける	自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。	社会人基礎力を備え、一般企業の適性検査に対応することができる。簿記の基礎的技術を習得するとともに、経済上の時事問題を明確に説明することができる。	課題発見と解決策を明確に表現し、説得力のある説明ができる。簿記検定2級レベルの技術を習得し、ビジネスに活用することができる。	地域社会と積極的に関わり、課題解決に至る合理的思考ができる。		幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるときにも、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとブレインテーションができる。
学びの基礎を身につける	学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。	幅広い教養を身に付けるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	種々の場面における最適な英語表現を選ぶことができる。	英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。		
人間性を高める	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識することができる。	情操を高め、教養の幅を広げることができる。	他者に対する思いやりと礼節を持ち、集団生活で自制することができる。	「和」の精神の持つ現代的意義を理解し、実生活に活用することができる。		思いやりと礼節心をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
教育目標	情報処理技術を理解するとともに利用技能を身につける		情報処理技術を用いて活用できる技能を身につける		卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果	

情報の構成および抽出に関する知識と技能を持ち、技術を多角的に活用し問題を解決する能力のある人

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 国際観光・ホテルコース カリキュラムマップ

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
	観光・ホテルの基礎を学ぶ	観光・ホテルの実務を学ぶ	体験を通して理解を深める	ホスピタリティーマイインドを体得する
観光業務の基礎的な知識を学び、ツアープランを作ることができる	観光学概論	〔選択〕 観光実務 (国内) 観光地理 I (国内) 〔選択〕 観光関連法規・約款	〔選択〕 観光地理 II (海外)	ツアープランニング演習 〔選択〕 旅行運賃実務
	ホテルサービス概論	ゲストサービス演習 ●ホテル実習		●ホテル実習
ホテル業務の基礎的な知識を学び、サービスのノウハウを身につける	〔選択〕 地域インターンシップ	〔選択〕 地域インターンシップ		
	〔選択〕 プライダル産業論	〔選択〕 プライダルコネクト演習		〔選択〕 ホスピタリティ産業論
ホスピタリティ産業のノウハウを学び、技能を身につける	〔選択〕 日本語プレゼンテーション I	〔選択〕 日本語プレゼンテーション II	料飲サービス演習	〔選択〕 ユニバーサルサービス演習
	観光英会話 I	観光英会話 II	ホテルの英語 海外事情 卒業研究	〔選択〕 接客外国語入門 異文化間コミュニケーション 卒業研究
観光・ホテル業務に必要な語学力を磨き、各国の文化や習慣を理解できる	キャリアスタディ I	キャリアスタディ I	キャリアスタディ II	キャリアスタディ II
	キャリア実践演習	〔選択〕 特別講座 I	〔選択〕 特別講座 II	〔選択〕 特別講座 II
	〔選択〕 秘書学概論 I	〔選択〕 秘書学概論 II	〔選択〕 簿記 II	〔選択〕 簿記 II
	データ整理の方法			〔選択〕 簿記 II
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技能や視点を身につける	〔選択〕 情報システムの考え方や社会貢献の理論と実践	〔選択〕 秘書学概論 II 地域貢献活動の実践	〔選択〕 秘書実務演習 I	〔選択〕 秘書実務演習 II
	スポーツと健康 I	スポーツと健康 II	〔選択〕 秘書実務演習 I	〔選択〕 秘書実務演習 II
学びの基礎を身につける	情報活用演習 (基礎)	教養科目 英語 I ～2	〔選択〕 環境論 教養科目 英語 II ～1	〔選択〕 環境論 教養科目 英語 II ～2
	Webの表現技法			
人間性を高める	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I
	聖徳教育 II	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育 II	
	聖徳教育 III SEITOKU Academic Literacy I・II	聖徳教育 III SEITOKU Academic Literacy II		
教育目標	観光・ホテル業界に必要なホスピタリティとは何かを理解する		観光・ホテル業界に必要な知識を学び体験することで理解を深める	

英会話力を持ち、観光・ホテルの業務に関する知識と技能及びホスピタリティーマイインドのある人

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 国際観光・ホテルコース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
観光業務の基礎的な知識を学び、ツアープランを作ることができる	観光・ホテルの基礎を学ぶ	観光・ホテルの実務を学ぶ	体験を通して理解を深める	ホスピタリティーマインドを体得する	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
ホテル業務の基礎的な知識を学び、サービスのノウハウを身につける	観光業とはどのようなものか、業務の種類を学ぶことができる。ホテルでインターンシップをする際に必要な知識・技能を身につけることができる。	ゲストサービスの知識・技能を身につけることができる。ホテルの業務を体験しながら、業務の内容を理解できる。	旅程作成に必要な知識を身につけることができる。それぞれの国の特徴を理解できる。	ホテルの業務を体験することができる。	専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通して多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。
ホスピタリティ産業のノウハウを学び、技能を身につける	ブライダル産業に関する知識を身につけることができる。ホスピタリティを意識した日本語表現を理解できる。	ブライダルコーティネートについて理解できる。ホスピタリティを意識した日本語表現を身につけることができる。	料飲サービスの知識・技能を身につけることができる。	ホスピタリティ産業の実際を学ぶことができる。ユニバーサルサービスの知識・技能を身につけることができる。	自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができ、学際的な知識・技能、ICTの活用を通して地域の課題を思考・実践し解決することができる。
観光・ホテル業務に必要な英語力を習得し、各国の文化や習慣を理解できる	相手に伝えたいことを英語で適切に表現できる。	英語圏を旅行する際に必要な英語を使うことができる。	様々なお客様に英語でサービスすることができる。世界情勢を理解できる。	接客に必要な外国語表現を理解できる。外国の人とコミュニケーションをとることができる。	幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考え、同時に、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとブレンドが出来る。
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技術や視点を身につける	自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。	社会人基礎力を備え、一般企業の適性検査に対応することができる。簿記の基礎的技術を習得するとともに、経済上の時事問題を明確に説明することができる。	課題発見と解決策を明確に表現し、説得力のある説明ができる。簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができる。	地域社会と積極的に関わり、課題解決に至る合理的思考ができる。	幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考え、同時に、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとブレンドが出来る。
学びの基礎を身につける	学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。	幅広い教養を身に付けるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	種々の場面における最適な英語表現を選ぶことができる。	英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。	思いやりと礼節をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
人間性を高める	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識することができる。	情懷を高め、教養の幅を広げることが出来る。	他者に対する思いやりと礼節を持ち、集団生活で自制することができる。	「和」の精神の持つ現代的意義を理解し、実生活に活用することができる。	
教育目標	観光・ホテル業界に必要な基礎的な知識を習得する	1年次	観光・ホテル業界に必要な知識を学び体験することで理解を深める	2年次	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果

英会話力を持ち、観光・ホテル業務に関する知識と技能及びホスピタリティーマインドのある人

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 ファッション・造形デザインコース カリキュラムマップ

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
	ファッション・デザインに係わる基礎知識を習得する	ファッション・デザインに係わる基礎技術を身につける	ファッション・デザインに係わる専門知識と技能を身につける	ファッション・デザインに係わる実践的な力を身につける
ファッション・デザインの基礎的・専門的な知識・技術を身につけ、日常生活に役立てる	ファッションデザイン画Ⅰ 色彩学 〔選択〕デザイン論	ファッションデザイン画Ⅱ 〔選択〕インテリア計画 〔選択〕クラフト	〔選択〕衣生活論 卒業制作	〔選択〕ファッションコーディネート論 卒業制作
ファッション造形の基礎的・専門的な知識・技術を身につけ、日常生活に役立てる	ファッション造形実習Ⅰ～Ⅰ 和服造形・着付け実習Ⅰ	ファッション造形実習Ⅰ～Ⅱ 和服造形・着付け実習Ⅱ	ファッション造形実習Ⅱ～Ⅰ	ファッション造形実習Ⅱ～Ⅱ
ファッション企業の業務内容を身につけ、企業で役立てる		ファッションビジネス論 〔選択〕染色加工学実験	〔選択〕ファッションビジネス実務演習 〔選択〕被服整理学実験	ファッション商品論 〔選択〕テキスタイル実習
アパレル企業で使用するパターン技術を身につけ、企業で役立てる	アパレル設計・生産実習	〔選択〕アパレル企画論・演習	パターンメイキング	
コンピュータを利用した情報伝達の技能を身につける		〔選択〕CG(ペイント系)演習	〔選択〕CG(イラスト・ドロー系)演習	〔選択〕CG(3D)演習 〔選択〕CG(動画)演習
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活躍する実践的技術や視点を身につける	キャリアスタディⅠ キャリア実践演習 〔選択必修〕秘書学概論Ⅰ データ整理の方法 〔選択〕情報システムの考え方や社会貢献の理論と実践	キャリアスタディⅠ 〔選択〕特別講座Ⅰ 〔選択必修〕簿記Ⅰ	キャリアスタディⅡ 〔選択〕特別講座Ⅱ 〔選択〕簿記Ⅱ	キャリアスタディⅡ 〔選択〕特別講座Ⅱ 〔選択必修〕書らしと経済 〔選択〕秘書実務演習Ⅱ
学びの基礎を身につける	スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習(基礎) 英語Ⅰ～Ⅰ Webの表現技法	スポーツと健康Ⅱ 教養科目 英語Ⅰ～Ⅱ	〔選択必修〕環境論 教養科目 英語Ⅱ～Ⅰ	〔選択必修〕環境論 教養科目 英語Ⅱ～Ⅱ
人間性を高める	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅠ・Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅡ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ
教育目標	ファッション・デザインに係わる幅広い基礎知識と技術を身につける	ファッション・デザインに係わる専門知識と技術を習得し実践力を身につける		

ファッション・デザインの知識・技能を身に付け
ファッションデザインの業界で活躍できる人

令和5年度入学生 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 ファッション・デザインコース 造形デザインコース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

	1 年次春学期 ファッション・デザインに係わる 基礎知識を習得する	1 年次秋学期 ファッション・デザインに係わる 基礎技術を身につける	2 年次春学期 ファッション・デザインに係わる 専門知識と技能を身につける	2 年次秋学期 ファッション・デザインに係わる 実践的な力を身につける	卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学習成果
ファッション・デザインの基礎的・専門的な知識・技術を身につけ、日常生活に役立てる	色彩やデザインに関する知識があり、考案したアイデアを表現するための基本的技術を身につけることができる。	考案したアイデアを自分らしきデザイン画に表現することができ、インテリアやクラフトの知識・技能がある。	衣服の素材やアパレル産業の品質管理業務などを理解し、自らの生活や仕事に活かすことができる。	学んだ知識を活かして、ファッションのコーディネートができる。2年間の美大成として、個性豊かな作品を制作することができる。	卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学習成果
ファッション造形の基礎的・専門的な知識・技術を身につけ、日常生活に役立てる	物づくりの提案や企画、デザインを学び、造形に関する知識や表現力を基礎から身につけることができる。	ファッション造形の基礎を学び、考案したデザインを的確に制作、表現する技術を身につけることができる。和服の着付けもできる。	服づくりの基礎と専門を学んだ上で、ファッションに於ける感性重視の作品制作の技術を身につけることができる。	ファッション造形の基礎と応用技術を身につけ、感性豊かな作品を制作することができる。	専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。
ファッション企業の業務内容を身につけ、企業で役立てる	アパレル設計に必要な知識、技能を身につけることができる。アパレル製品の設計、生産工程を理解できる。	ファッション企業の実務内容(ファッション商品、企画、販売)を理解し、説明できる。繊維の染色と加工について理解できる。	ファッション産業の仕組みやビジネス実務を実践的に理解できる。被服の手入れや保管について理解できる。	ファッション商品企画の方法を理解し、ファッション企画力を身につけることができる。繊維・糸の性質・製造技術等を理解できる。	専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。
アパレル企業で使用するパターン技術を身につけ、企業で役立てる	アパレル設計に必要な知識、技能を身につけることができる。アパレル製品の設計、生産工程を理解できる。	アパレル業界、ブランド企画に関する基礎知識と技術を学んだ上で、パターンニングマップ、実物作品の制作ができる。	企業のパターンと縫製工程に従って実物の作品を制作し、工業縫製を身につけることができる。	ファッション商品企画の方法を理解し、ファッション企画力を身につけることができる。繊維・糸の性質・製造技術等を理解できる。	専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。
コンピュータを利用した情報伝達の技能を身につける	自己分析と自己形成のための視点を学び、社会での役割を位置付けることができる。各種パソコンソフトの操作技術を必要に応じて使いこなすことができる。	CG (ペイント系) の知識があり、高度な表現ができる。	CG (イラスト・ドロー系) の知識があり、高度な表現ができる。	CG (3D、動画) の知識があり、高度な表現ができる。	自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて地域の課題を思考・実践し解決することができる。
キャリア実践力を形成し、ビジネスで活きる実践的技術や視点を身につける	学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。	社会人基礎力を備え、一般企業の適性検査に対応することができる。簿記の基礎的技術を習得するとともに、経済上の時事問題を明確に説明することができる。	課題発見と解決策を明確に表現し、説得力のある説明ができる。簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができる。	幅広い教養に基づいた多様な視点が物事を考ええるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。	自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて地域の課題を思考・実践し解決することができる。
学びの基礎を身につける	学習成果を獲得するための基礎的な知力・体力・技能について、自己分析することができる。	幅広い教養を身に付けるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	種々の場面における最適な英語表現を選ぶことができる。	英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。	幅広い教養に基づいた多様な視点が物事を考ええるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。
人間性を高める	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識することができる。	情眼を高め、教養の幅を広げることができる。	他者に対する思いやりと礼節を持ち、集団生活で自制することができる。	「和」の精神の持つ現代的意義を理解し、実生活に活用することができる。	思いやりと礼節心をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
教育目標	ファッション・デザインに係わる幅広い基礎知識と技術を身につける	ファッション・デザインに係わる幅広い基礎知識と技術を身につける	ファッション・デザインに係わる専門知識と技術を習得し実践力を身につける	ファッション・デザインに係わる実践的な力を身につける	卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学習成果

[図書館司書]

別表15

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	司書	履修年次				備考
					1		2		
					春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	生涯学習概論		2	○	○				
<input type="checkbox"/>	図書館概論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	図書館情報技術論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	図書館制度・経営論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	図書館サービス概論		2	○	○				
<input type="checkbox"/>	情報サービス論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	児童サービス論		2	○			○		
<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅰ	演	1	○			○		
<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅱ	演	1	○				○	
<input type="checkbox"/>	図書館情報資源概論		2	○		○			
<input type="checkbox"/>	情報資源組織論		2	○	○				
<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅰ	演	1	○			○		
<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅱ	演	1	○				○	
<input type="checkbox"/>	図書館基礎特論		2	△				○	
<input type="checkbox"/>	図書館サービス特論		2	△					
<input type="checkbox"/>	図書館情報資源特論		2	△					
<input type="checkbox"/>	図書・図書館史		2	△				○	
<input type="checkbox"/>	図書館施設論		2	△					
<input type="checkbox"/>	図書館総合演習		1	△					

△印を付された科目について、短期大学部向けに開講されるのは図書館基礎特論と図書・図書館史のみである。その他の科目の履修を希望する場合は、4年制大学向けに開講された科目を担当教員の許可を得て履修すること。

[履修上の注意]

図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印を付された科目全部と、△印を付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。

[調理師受験対策講座]

別表16

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	履修年次				備考
				1		2		
				春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	衛生法規		2				○	栄養学各論を含む。
<input type="checkbox"/>	公衆衛生学		2	○				
<input type="checkbox"/>	健康と栄養		2	○				
<input type="checkbox"/>	ライフステージと栄養		2		○			
<input type="checkbox"/>	官能評価論, 鑑別論	演	2			○		
<input type="checkbox"/>	食品学		2	○				
<input type="checkbox"/>	食品衛生学		2		○			
<input type="checkbox"/>	食文化概論		2			○		
<input type="checkbox"/>	調理学		2	○				
<input type="checkbox"/>	献立の組立て方		2				○	
<input type="checkbox"/>	食品加工実習		1				○	
<input type="checkbox"/>	基礎調理実習	実	1	○				
<input type="checkbox"/>	調理実習Ⅰ	実	1		○			
<input type="checkbox"/>	調理実習Ⅱ	実	1				○	
<input type="checkbox"/>	調理実習Ⅲ	実	1			○		
<input type="checkbox"/>	調理実習Ⅳ	実	1				○	

※調理師試験の受験には、卒業後2年間の実務経験が必要です。

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

[フードスペシャリスト(受験資格)]

別表17

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	履修年次				備考
				1		2		
				春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	フードスペシャリスト論		2	○				食品加工学を含む。
<input type="checkbox"/>	フードコーディネート論		2				○	
<input type="checkbox"/>	官能評価論, 鑑別論	演	2			○		
<input type="checkbox"/>	基礎調理実習	実	1	○				
<input type="checkbox"/>	調理実習 I	実	1		○			
<input type="checkbox"/>	調理学		2	○				
<input type="checkbox"/>	食品加工実習	実	1				○	
<input type="checkbox"/>	食品流通論		2				○	
<input type="checkbox"/>	食文化概論		2			○		
<input type="checkbox"/>	食品学		2	○				
<input type="checkbox"/>	食品衛生学		2		○			
<input type="checkbox"/>	健康と栄養		2	○				

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	情報処理士	観光実務士	秘書士	ビジネス実務士	履修年次				備考
								1		2		
								春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎) (「文書作成技法」)	演	1			○	○	○				※が付された科目のいずれかを履修すること。
<input type="checkbox"/>	社会貢献の理論と実践	演	1	○	○	○	○			○		
<input type="checkbox"/>	地域貢献活動の実践	演	1	○	○	○	○				○	
<input type="checkbox"/>	キャリアスタディⅠ		2	○	○	○	○	○	○			
<input type="checkbox"/>	キャリアスタディⅡ		2	○	○	○	○			○	○	
<input type="checkbox"/>	データ整理の方法	演	1	○	○	○	○	○				
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションの技法	実	1		○			○				
<input type="checkbox"/>	webの表現技法	演	1		○			○				
<input type="checkbox"/>	暮らしと経済		2	※	※	※	※				○	
<input type="checkbox"/>	簿記Ⅰ		2	※	※	※	※		○			
<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーションⅠ	演	1			○	○	○				
<input type="checkbox"/>	日本語プレゼンテーションⅡ	演	1			○	○		○			
<input type="checkbox"/>	ビジネス実務総論Ⅰ		2				○					
<input type="checkbox"/>	ビジネス実務総論Ⅱ		2				○					
<input type="checkbox"/>	ビジネス実務演習Ⅰ	演	1				○					
<input type="checkbox"/>	ビジネス実務演習Ⅱ	演	1				○					
<input type="checkbox"/>	秘書学概論Ⅰ		2			○		○				
<input type="checkbox"/>	秘書学概論Ⅱ		2			○			○			
<input type="checkbox"/>	秘書実務演習Ⅰ	演	1			○				○		
<input type="checkbox"/>	秘書実務演習Ⅱ	演	1			○					○	
<input type="checkbox"/>	情報処理論		2	○					○			
<input type="checkbox"/>	情報システムの考え方		2	○				○				
<input type="checkbox"/>	情報コミュニケーション技術		2	○					○			
<input type="checkbox"/>	データ分析の方法	演	1	○					○			
<input type="checkbox"/>	データベース演習Ⅰ	演	1	○						○		
<input type="checkbox"/>	データベース演習Ⅱ	演	1	○							○	
<input type="checkbox"/>	観光学概論		2		○			○				
<input type="checkbox"/>	観光英会話Ⅰ	演	1		○			○				
<input type="checkbox"/>	観光英会話Ⅱ	演	1		○				○			
<input type="checkbox"/>	観光実務(国内)		2		○				○			
<input type="checkbox"/>	観光地理Ⅰ(国内)		2		○				○			
<input type="checkbox"/>	観光地理Ⅱ(海外)		2		○					○		
<input type="checkbox"/>	海外事情		2		○					○		
<input type="checkbox"/>	観光関連法規・約款		2		○				○			
<input type="checkbox"/>	旅行運賃実務	演	1		○						○	
<input type="checkbox"/>	ツアープランニング演習	演	1		○						○	
<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論		2		○						○	
<input type="checkbox"/>	ホテルの英語	演	1		○					○		

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

専攻科 履修要項

専攻科 医療保育専攻

教育課程は別表19のとおりとする。

1. 修了所要単位は、学則により47単位以上と定められています。
2. 幼稚園教諭一種免許状を取得する者(幼稚園教諭二種免許状所有者に限る)は、学士の学位取得(62単位以上必修)に加えて、別表19の幼一種免欄に○印の付された科目を修得することが必要となります。

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義課目を示す。

専攻科 医療保育専攻

別表19

	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	①必修	②幼一免	履修期		備考
							春	秋	
専門教育科目	<input type="checkbox"/>	医療社会学		2	○		○		
	<input type="checkbox"/>	カンファレンスⅠ	演	1	○		○		
	<input type="checkbox"/>	カンファレンスⅡ	演	1				○	
	<input type="checkbox"/>	乳児期の病態生理学		2	○		○		
	<input type="checkbox"/>	小児医学研究Ⅰ		2	○		○		
	<input type="checkbox"/>	小児医学研究Ⅱ		2	○			○	
	<input type="checkbox"/>	医療保育論		2	○		○		
	<input type="checkbox"/>	保育看護Ⅰ		2	○		○		
	<input type="checkbox"/>	保育看護Ⅱ	演	1	○				○
	<input type="checkbox"/>	乳児保育研究Ⅰ	演	1	○		○		
	<input type="checkbox"/>	乳児保育研究Ⅱ	演	1	○				○
	<input type="checkbox"/>	療養保育研究Ⅰ～1	演	1	○		○		
	<input type="checkbox"/>	療養保育研究Ⅰ～2	演	1	○				○
	<input type="checkbox"/>	療養保育研究Ⅱ～1	演	1	○		○		
	<input type="checkbox"/>	療養保育研究Ⅱ～2	演	1	○				○
	<input type="checkbox"/>	療養保育研究Ⅲ	演	1					○
	<input type="checkbox"/>	音楽療法研究		2	○	○			○
	<input type="checkbox"/>	家族理解と援助の社会学		2	○				○
	<input type="checkbox"/>	カウンセリング研究Ⅰ	演	1	○	○	○		
	<input type="checkbox"/>	カウンセリング研究Ⅱ	演	1	○	○			○
	<input type="checkbox"/>	発達臨床心理学研究Ⅰ	演	1	○	○	○		
	<input type="checkbox"/>	発達臨床心理学研究Ⅱ	演	1	○	○			○
	<input type="checkbox"/>	障害児心理学研究		2	○	○			○
	<input type="checkbox"/>	病児保育研究		2	○	○			○
	<input type="checkbox"/>	障害児保育研究		2	○	○			○
	<input type="checkbox"/>	医療保育実習	実	3	○				○
	<input type="checkbox"/>	修了論文		2	○				
	<input type="checkbox"/>	幼児と健康研究		2	△	△	●	●	△印の科目のうち、1科目は必修 春学期または秋学期に開講
	<input type="checkbox"/>	幼児と人間関係研究		2	△	△	●	●	
	<input type="checkbox"/>	幼児と環境研究		2	△	△	●	●	
<input type="checkbox"/>	幼児と言葉研究		2	△	△	●	●		
<input type="checkbox"/>	幼児と音楽表現研究		2	△	△	●	●		
<input type="checkbox"/>	幼児と造形表現研究		2	△	△	●	●		
<input type="checkbox"/>	幼児と身体表現研究		2	△	△	●	●		
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法研究		2	○	○	○			
<input type="checkbox"/>	幼児教育課程研究		2	○	○	○			
<input type="checkbox"/>	教育方法技術研究		2	○	○	○			
<input type="checkbox"/>	児童福祉研究		2			○			
<input type="checkbox"/>	地域福祉研究		4			○	○		
<input type="checkbox"/>	児童館論		2			○			
<input type="checkbox"/>	児童館実習	実	4			○	○		
計				73	47	20			

免許・資格取得の課程履修登録(短期大学部)

教員免許状及び諸資格を取得するための課程を選択履修する者は、次の手続きをしてください。

(1) 手続き方法

指定の期日までに各種申請支払システムで申請手続きをしてください。手続き期間については、ActiveAcademyにてお知らせいたします。(保育科、専攻科生は1年次の4月中に、総合文化学科は1年次の5月が手続き期間となります。)

各種申請支払システムの利用については、学生便覧を参照してください。

(2) その他

- ① 保育科の学生は、幼稚園教諭二種免許、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。
- ② 保育科の学生で、幼稚園教諭二種免許、保育士資格の両方を取得する場合は、忘れずに両方の課程登録をしてください。
- ③ 履修登録の届けをしないうで履修しても、課程は認定されません。
- ④ 履修途中において選択課程の登録を取消す場合は、保証人連署の課程履修取消願をクラス担任および科目担当教員の下承を得て指定期日までに、教育支援課に提出してください。(ただし、必修とする免許・資格の課程は取消しできません。また、課程履修費は返金されませんので、必ずクラス担任の先生と相談をしてください。)

別表20

免許・資格名		履修費	登録できる学科 (○印が可能)		備考
			保 育 科	総 合 文 化 学 科	
教員 免許状	幼稚園教諭二種免許状	30,000	○		
国家 資格	保育士	60,000	○		
	図書館司書	20,000	○	○	※保育科は第一部のみ取得可能
民間 資格	フードスペシャリスト (受験資格)	-		○	
	ビジネス実務士	40,000		○	
	情報処理士	-		○	
	秘書士	40,000	○	○	※保育科は第一部のみ取得可能
	観光実務士	20,000		○	
	准学校心理士	-	○		※協会審査料、登録料、会費等については別途指示

[注] 学外実習費が別にかかる場合は、登録料手続きの際にお知らせいたします。



SEITOKU UNIVERSITY

部

科

コース

年

クラス

学籍番号

—

氏名
